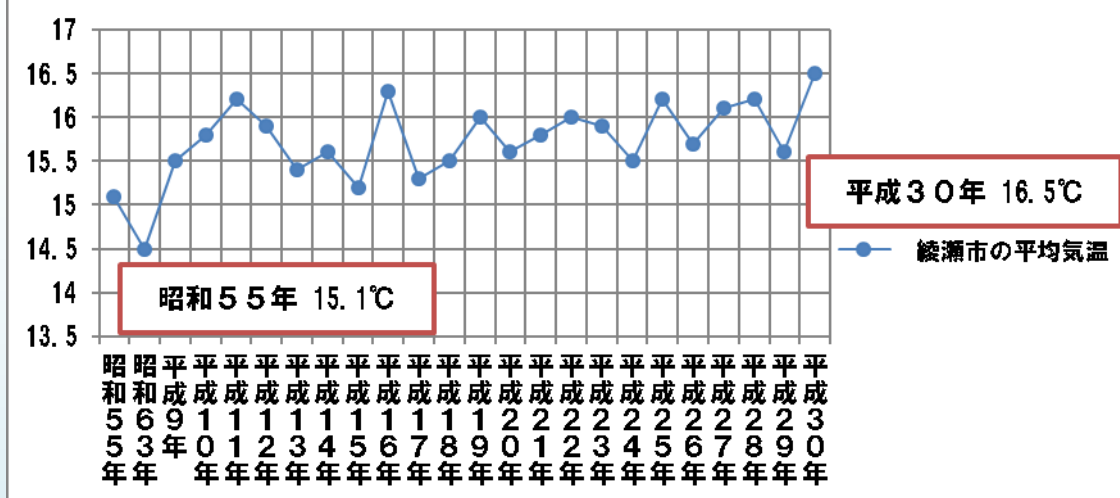


綾瀬市環境報告書

平成30年度取組結果

綾瀬市の平均気温



◇綾瀬市の平均気温の変化:昭和55(1980)年度から平均気温が1.4°C上昇



綾瀬市マスコットキャラクター あやびい

目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	平成30年度の取組評価（まとめ）	3
3	各計画の報告	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
	(3) 綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）取組結果	12
	(4) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）取組結果	21
	(5) あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	27
	【 資料編 】	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	30
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画	34
	(3) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	44
	(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	50
	(5) 市民環境団体の活動報告	57
	(6) エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	62

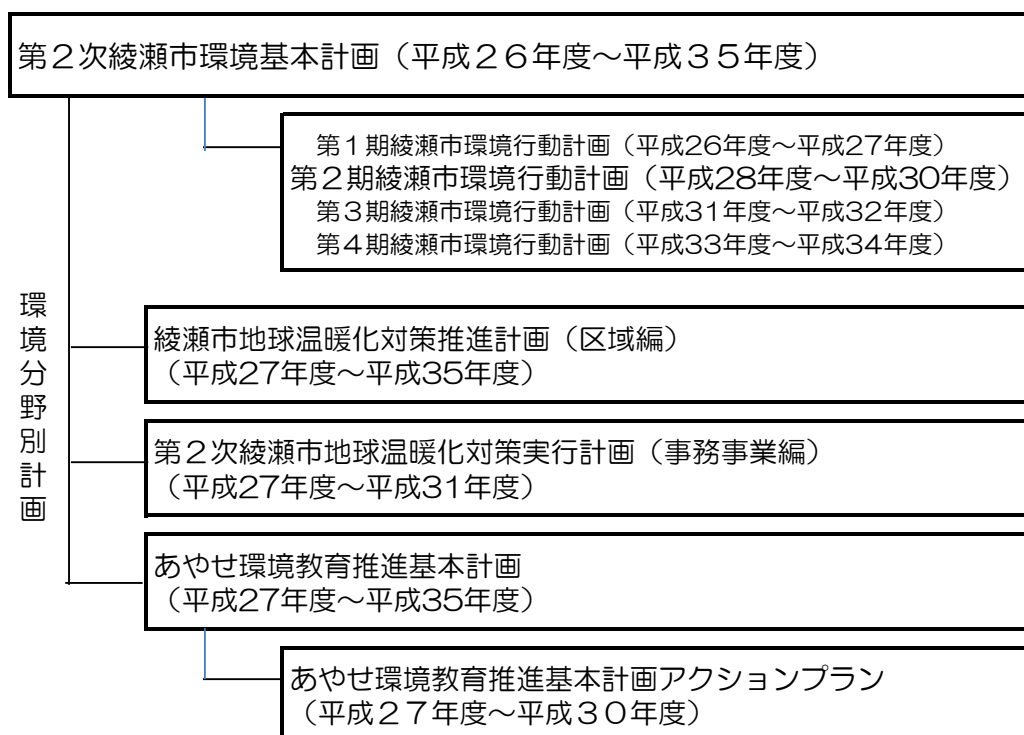
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、平成30年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



【 第2次綾瀬市環境基本計画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像Ⅰ
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像Ⅱ
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像Ⅲ
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備します
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像Ⅳ
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます

環境の将来像Ⅴ
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めます
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます

環境の将来像Ⅵ
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます

2 平成30年度の取組評価（まとめ）

平成30年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【 各計画の目標達成状況 】

(1) 基本計画の平成30年度環境指標として掲げられた39指標のうち、24指標を目標どおり実施しました。14指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

【本文：P6～8、資料編P30～33】

(2) 行動計画として設定した54項目のうち、35項目を目標どおり、3項目をほぼ目標どおり実施し、11項目が一部未達成、5項目が未達成となりました。

【本文：P9～11、資料編：P34～42、P62～65】

(3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量（平成28年度）は、861千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下を達成しました。【本文：P12～20】

(4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,670t-CO₂となり、目標排出量7,367t-CO₂は未達成となりました。

【本文：P21～26、資料編：P44～49】

(5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」に設定した49項目のうち、43項目を目標どおり、3項目をほぼ目標どおり、1項目が一部未達成、2項目が未達成となりました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

【本文：P27～29、資料編：P50～56】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 環境指標について、特に達成率の低かった環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）及び環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、交通体系の整備、ごみの減量化などの目標に取り組めます。
- (2) 行動計画については、環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低い結果となりました。「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するため取り組めます。
- (3) 区域編については目標を達成しました。引き続き「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21」などの事業に取り組めます。
- (4) 事務事業編について、学校等で二酸化炭素排出量が増加し、目標を達成することができませんでした。省エネルギー行動に取り組むとともに、本庁舎のLED照明化などの施設改修を検討します。
- (5) アクションプランについては、未達成となった事業所対象講座等の実施やあやせEMSの運用について、重点的に取り組めます。

【 未達成事項 】

各計画の未達成事項は、9項目（P5未達成事項一覧参照）となりました。
「今後の取組」に基づき、目標達成に向けた施策を進めていきます。

綾瀬市環境報告書 平成30年度取組結果 未達成事項一覧

No.	目 標	結 果	今後の取組	ページ
第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標 (平成26～35年度)				
1	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】 1-1 あやせ生物多様性行動指針の策定と推進： 27年度までに策定、その後指針に基づいて推進	未策定	※生物多様性行動指針は29年度に策定しないことと決定	30
第2期綾瀬市環境行動計画 (平成28～30年度)				
2	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 42-2 雨水貯留槽設置の助成：10件以上	H28 5件 H29 (助成終了) H30 (助成終了)	問合せの際、助成はなくなったが省資源となる旨を説明し、設置促進に努める	39
3	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 45-5 市役所の水道使用量の削減：4%削減	H25 3,984m ³ H28 6,162m ³ (55%増) H29 5,185m ³ (29%増) H30 6,220m ³ (56%増)	維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	39
4	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 47-7 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰：累計3事業所以上	環境報告書で事業所の取組を紹介	事業所への省エネ普及啓発に関するほかの方法を検討する	40
5	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 49-9 目久尻川の水辺を活かした親水公園(クールスポット)の整備：目久尻川親水公園の公開	地権者と調整	引き続き交渉する	40
6	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 64-5 公園でのハイブリッド照明灯等の導入：2基以上	LED照明灯を代替として7台導入(H30)	引き続き設置箇所を検討する	41
第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) (平成27～31年度)				
7	二酸化炭素排出量 7,367t-CO2	二酸化炭素排出量 7,670t-CO2	・照明のLED化などの高効率照明への転換 ・新エネルギーを利用した設備の導入 ・節電などの省エネ行動	21
あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン (平成27～30年度)				
8	事業所対象の講座等の実施 1回	未実施	実施内容・実施対象について検討	52
9	あやせEMSの運用 不適合0	不適合1	・対象施設は改善計画の作成を実施済 ・対象施設の設備改修に着手予定	54

3 各計画の報告

第2次綾瀬市環境基本計画

(平成26年度～平成35年度)

平成30年度 環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、平成35年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 平成30年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 平成30年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた39指標のうち、24指標を目標どおり実施しました。14指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P30～)。

○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築) 9指標：○5指標、△3指標、×1指標

○ 1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」については、平成29年10月に開催した環境施策調整会議で、策定しないことを決定したため、未達成となっていますが、生物多様性に関する啓発等を実施することで、生物の多様性を育むための取組を進めます。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 8 指標、△ 1 指標

○ 16-7「生活排水処理率」については目標値を達成できませんでした。その他の指標についてはすべて達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取組を進め、目標達成を目指します。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 10 指標：○ 5 指標、△ 5 指標

○ 21-3「市民一人当たりの公園面積」、23-5「公共交通機関（バス）利用満足度」など 5 つの指標について、目標を達成できませんでした。特に交通に関する指標は 2 指標とも達成できなかったことから、重点的に推進し、文化・都市環境の形成に向けて引き続き取り組む必要があります。

なお、27-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、平成 28 年 5 月に新規登録の受付を終了しました。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や 3 R が進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 4 指標：○ 1 指標、△ 3 指標

○ 30-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、31-3「焼却処理されるごみ量」及び 32-4「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、3 R の普及啓発を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標

○ 33-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び 34-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の 2 指標について目標を達成しました。引き続き低炭素社会の構築に向けて、省エネ・創エネを進めます。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）5指標：○3指標、△2指標

○ 36-2「あやせエコっと21家庭編（応募家庭数）」及び37-3「あやせエコっと21事業所（登録事業所）」について、目標を達成できませんでした。1事業所が新たにあやせエコっと21登録事業所となりましたが、目標値には達しませんでした。引き続き事業所への訪問を継続し、案内を強化するとともに、市民や事業者などと協働し、地球環境保全の取組を進める必要があります。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの将来像については目標を達成できていない指標があります。

その中でも「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、事業等は実施しているものの目標に達しない指標が多く、指標の半数が目標を達成できていません。特に、交通に関する指標について目標を達成できていないことから、この指標に重点的に取り組み、人と環境にやさしい交通体系を整備することで、歴史・文化資源を活かした環境と共生するまちを形成していく必要があります。

また、「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」についても、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、講座やイベントなどを効果的に活用し、ごみの減量化やリサイクル率向上を目指して市民や事業者に対し、引き続き普及啓発を行っていく必要があります。

第 2 期綾瀬市環境行動計画 平成 2 8 年度～平成 3 0 年度
あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

平成 3 0 年度 取組結果

1 平成 3 0 年度 環境行動計画の概要

本計画は、第 2 次綾瀬市環境基本計画の第 2 期行動計画として、行政が行う内容の 5 4 項目を設定し、行動内容の進行管理をし、環境にやさしい暮らしを实践するものです。

2 平成 3 0 年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせ EMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成 3 0 年度の取組結果

環境の将来像 I ～VI に掲げられた 5 4 項目のうち、3 5 項目を目標どおり、3 項目をほぼ目標どおり実施し、1 1 項目が一部未実施又は一部未達成、5 項目が未実施又は未達成となりました。

各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました（資料編参照 P 3 4 ～）。

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×未実施又は未達成

◆**環境の将来像 I** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築） 1 3 項目：◎ 1 0 項目、○ 1 項目、△ 2 項目

○ あやせ生物多様性行動指針の策定は行わないこととなりましたが、啓発事業などを行うことで、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進します。

◆**環境の将来像 II** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

○ 大気や水質、騒音の監視状況について、担当課で進行管理を実施しています。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）7項目：◎4項目、○1項目、△2項目

○ 基本目標③人と環境にやさしい交通体系の整備について、いくつかの事業で平成30年度に整備が完了しています。未完成の事業について、引き続き推進する必要があります。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）7項目：◎4項目、△3項目

○ 生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化について、目標を達成することができませんでした。普及啓発などを継続し、循環型社会の構築に向けて引き続き取り組みます。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）25項目：◎15項目、○1項目、△4項目、×5項目

○ 市役所の電気使用量について、平成30年度は目標達成しました。より節電を推進するため、市職員の節電では限界があることから、省エネ診断を踏まえた設備更新を検討し、省エネを進めていきます。また、他の環境の将来像と比較し、達成率が低くなっていることから、地球温暖化防止への取り組みに力を入れる必要があります。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。

4 今後の取組

環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低く、未達成となった次の行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として可能な範囲で取り組む必要があります。

① 市役所の水道使用量の削減(平成25年度比)：実現に向けた取組 → 市職員の節電や節水だけでは限界があることから、省エネ診断を踏まえた設備更新を検討し、省エネを進める。

- ② 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰 → 顕彰を行わないと決定したことから、環境展で事業所の省エネ活動を紹介するなど、普及啓発に関する他の方法を検討する。
- ③ 目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備 → 引き続き地権者との交渉を重ねる。
- ④ 公園でのハイブリッド照明灯等の導入 → LEDの導入も視野に入れ、引き続き省エネ仕様の照明灯等の設置箇所を検討する。

また、環境の将来像別では、「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」については、生物多様性に関する啓発などを行うことで、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進する必要があります。「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、交通体系の整備について、平成30年度にいくつかの事業が完了しましたが、未完了事業について、推進していく必要があります。「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、家庭系ごみが増加してしまったことから、生ごみ処理容器購入費助成などを進めながら、資源が大切にされるまちを目指していく必要があります。「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネ診断などを実施しながら、より効果的な取組を進める必要があります。「環境の将来像Ⅵ（協働社会の構築）」については、事業所独自の省エネや美化活動も推進されていますが、市と事業所との連携をより深めていく必要があります。



綾瀬市地球温暖化対策推進計画

(区域編)

- 平成27年度～平成35年度 -

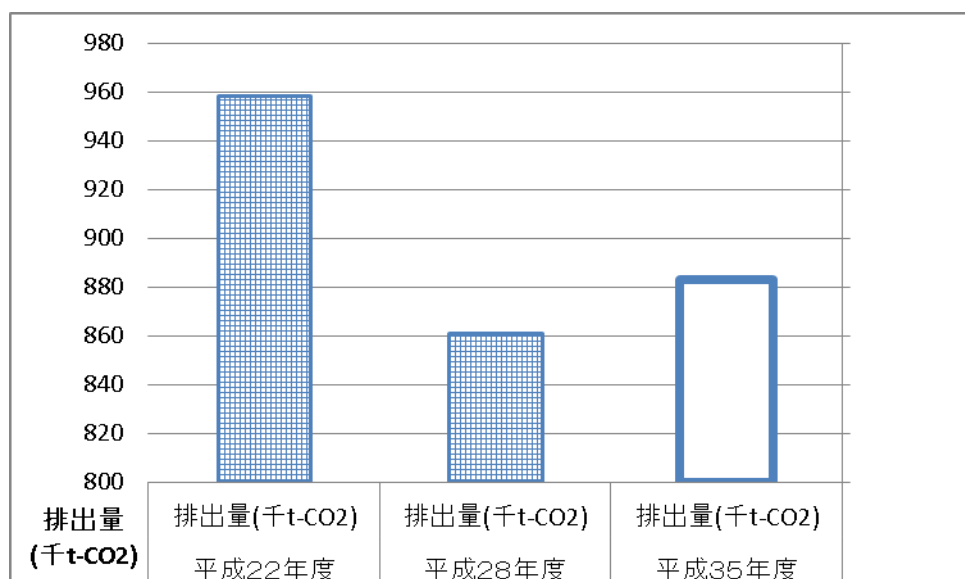
**地球温暖化防止のために、
みんなで省エネや創エネを進めるまち**

低炭素社会の構築を目指して

平成30年度までの取組結果

二酸化炭素排出状況

年度	平成22年度 (基準年度)	平成28年度	平成35年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)
排出量	958	861	883
基準年度比 (%)	—	△ 10.1	△ 7.8



1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画—平成27年度～平成35年度—の概要

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、平成27年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

○**基準年度** 平成22年度

○**計画期間** 平成27年度～平成35年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～平成35年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づく、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。)

(地球温暖化対策の推進に関する法律(平成28年5月改正))

○**基準年度**（平成22年度）の二酸化炭素排出量 95万8千t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を平成35年度までに7万5千t（約8%）削減
（平成35年度二酸化炭素排出量目標：88万3千t）

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、平成30年度取組結果のデータは、平成28年度排出量となります。

3 平成28年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、平成35（2023）年度の削減目標として、基準年度（平成22（2010）年）をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン（約△8%）削減し、88万3千トン以下にすることを目指しています。

本市区域の平成28年度の二酸化炭素排出量の推計結果は86万1千t-CO2となり、基準年度（平成22年度）と比較すると、97万3千t-CO2、10.1%の減少となりました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO2)

温室効果ガス種・部門など			基準年度 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	基準年比	
								増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー起源 (間接排出量)	産業部門							
		製造業	623	662	659	646	515	-108	-17.3%
		建設業・鉱業	10	9	8	9	8	-2	-20.0%
		農林水産業	2	2	1	1	1	-1	-50.0%
		小計	636	673	668	656	524	-111	-17.6%
		家庭部門	98	125	114	97	103	5	5.1%
		業務部門	93	121	130	124	111	18	19.4%
		運輸部門	121	123	121	118	117	-4	-3.3%
		小計	948	1042	1033	995	855	-93	-9.8%
		非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	6	6	-4	-40.0%
二酸化炭素(CO2)排出量計			958	1,048	1,039	1,001	861	-97	-10.1%
その他のガス(CH4、N2O、HFC)計			4	4	4	5	5	1	25.0%
温室効果ガス計			962	1,052	1,043	1,006	866	-96	-10.0%
人口(人)			83,167	83,828	83,990	84,460	84,427	1,260	1.5%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO2/人)			11.5	12.5	12.4	11.9	10.2	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO2/人)			11.6	12.5	12.4	11.9	10.3	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO2としていますので、合計が合わないことがあります。

また、国全体での平成28年度の二酸化炭素排出量について、環境省では次のように考察しています。

・前年度からの減少要因としては、省エネ等によるエネルギー消費量の減少とともに、太陽光発電及び風力発電等の導入拡大や原子力発電の再稼働等によるエネルギーの国内供給量に占める非化石燃料の割合の増加等のため、エネルギー起源のCO2排出量が減少したことなどが挙げられます。¹

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門60.9%、家庭部門12%、業務部門12.9%、運輸部門13.6%、廃棄物部門0.7%となりました。

基準年と比較すると、産業部門、運輸部門、廃棄物部門の排出量は減少していますが、家庭部門(+5.1%)、業務部門(+19.4%)の排出量は増加しています。

¹ 「2016年度(平成28年度)の温室効果ガス排出量(確報値)について」環境省HPより抜粋

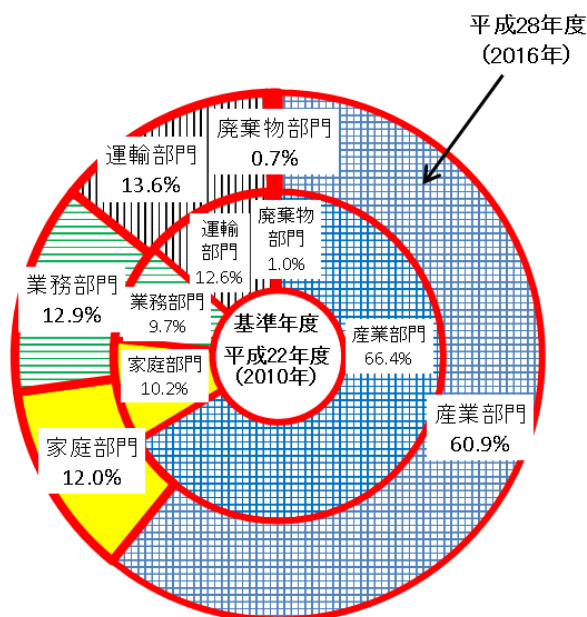
部門別二酸化炭素排出量の変動

(単位:千t-CO2)

部門	基準年度 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		平成28年度 (2016年)		基準年比		目標年度 平成35年度 (2023年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	668	64.3%	656	65.5%	524	60.9%	-112	-17.6%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	114	11.0%	97	9.7%	103	12.0%	5	5.1%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	130	12.5%	124	12.4%	111	12.9%	18	19.4%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	121	11.6%	118	11.8%	117	13.6%	-4	-3.3%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.7%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	1,039	100.0%	1,001	100.0%	861	100.0%	-97	-10.1%	883	100.0%

●産業部門

工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から3,702億円(平成28年度)と4.3%減少するなど、生産活動による二酸化炭素排出量が減少しています。



●家庭部門

世帯数が、33,651世帯(平成22年度)から36,735世帯(平成28年度)と9.1%増加しました。世帯数の増加による電力使用量の増加などが原因として考えられます。

●業務部門

A重油や灯油の消費量は減少していますが、市街化が進み、スーパーなどの第3次産業が増加したことから、都市ガス及び電力の消費量が増加しました。

●運輸部門

自動車の環境性能の向上などにより二酸化炭素排出量は減少しました。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、特に増加傾向にある家庭部門からの排出抑制対策として、平成17年度から環境保全対策補助事業を、平成18年度からあやせエコっと21を実施し、この2事業を中心に第2次綾瀬市環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。(啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進基本計画(アクションプラン)」参照)

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助(再生可能エネルギーの導入)における二酸化炭素排出削減量を平成35年度2,980t-CO2に設定しています。平成30年度の削減量は、2,776t-CO2となり、計画目標達成率は93.2%となるとともに、平成30年度の目標2,154t-CO2に対し、達成率は128.9%となりました。

再生可能エネルギーの導入	対象	対象数		設定	削減見込量
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続	全対象数	計画での予定対象数	導入率(%)	(t-CO2/年)
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23→H35年度までの予定対象数	1,900軒	100%	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設置補助	共同住宅	H23→H35年度までの予定対象数	30軒	100%	50
3) 事業所用太陽光発電設置補助	事業所	H23→H35年度までの予定対象数	30件	100%	160
					2,980

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
CO2削減量 (kg-CO2)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362	2,220,934					
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118	17,708					
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997	537,486					
	計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	2,776,128	0	0	0	0	0	
	達成率	91.8%	119.7%	144.7%	135.9%	128.9%						
H35年度:目標達成率		42.6%	66.3%	88.3%	90.6%	93.2%						

この2事業の取組により平成28年度では、2,636.3t-CO2の二酸化炭素の削減効果がありました(環境保全対策補助事業:住宅用太陽光発電・共同住宅用太陽光発電、事業所用太陽光発電:2,629.9t-CO2。あやせエコっと21家庭編:節電・節水、レジ袋削減、家電製品買替え:6.4t-CO2)。

全環境保全対策補助事業及びあやせエコっと21家庭編により、平成30年度では、3,187.8t-CO2の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉227,700本/年の植林効果(1本約14kg/年:関東森林管理局)に匹敵します。

また、人で試算すると1,559人分(2016年度:約2,045kg-CO₂/年:全国地球温暖化防止活動センター)の二酸化炭素排出量となります。

なお、平成30年度の取組結果は次のとおりとなりました。

○ 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が平成29年3月に策定した「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づき行う。(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.475)

※令和元年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

- (1) **環境保全対策補助事業**: 太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、平成30年度では3,184t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

○太陽光発電設備設置補助金(個人住宅・共同住宅・事業所用)

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、平成30年度までに1,204件で4,675.65kW、平成25年度から開始した共同住宅用が6件で37.28kW及び事業所用が15件で1,131.54kW、合計5,844.47kWとなりました。年間では、5,844.47kWh(5,844.47kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、2,776.1t-CO₂(5,844.47kW×1,000kWh×0.475(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.475))の二酸化炭素が削減できました。

○家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金(平成25年度から実施)

平成25年度から開始し、平成30年度までの累計は168台となり、223.4t-CO₂[168台×1,330kg-CO₂(1台当たりの年間削減量)]の二酸化炭素が削減できました。

○電気自動車導入補助金(平成23年度から実施)

平成23年度から開始し、平成30年度までの累計は100台となり、1kWh(10)当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、

約 184.5 t-CO₂ [(100台×10,000km÷10km/ℓ×2.32 (ガソリン排出係数))
 - (100台×10,000km÷10km/kWh×0.475 (東京電力エナジーパートナー(株)排出係数))] の二酸化炭素が削減できました。

○雨水貯留槽設置補助金 (平成17年度から平成28年度まで実施)

平成17年度から開始し、平成28年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました (平成28年度で制度終了)。

☆ 住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
17～26	912	3,346.17
27	98	424.59
28	83	387.65
29	57	243.57
30	54	273.67
合計	1,204	4,675.65

☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
28	26
29	51
30	29
合計	168

☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～26	4	21.96
27	1	9.26
28	1	6.06
29	0	0.00
30	0	0.00
合計	6	37.28

☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
23～25	40
26	8
27	13
28	12
29	15
30	12
合計	100

☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～26	8	108.85
27	0	0.00
28	5	998.10
29	1	8.27
30	1	16.32
合計	15	1,131.54

☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
17～26	107	16,154
27	5	1,100
28	5	785
平成28年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン:家庭での節電や節水など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成25年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

平成30年度は、この取組(節電・レジ袋削減・家電製品買換え)により、合計で約3.8t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電コース： ◇応募件数

期間中の使用量が	年度	26	27	28	29	30
昨年同期より削減で	件数	497	280	248	214	120

きた場合に応募できます。二酸化炭素削減量:平成30年度は、120件、4,881kWhの削減。これに、電気の二酸化炭素係数0.475を乗じて、節電で約2.3t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

※節水コースは平成28年度を最後に廃止。

○レジ袋削減コース：◇応募件数

市内レジ袋削減推	年度	26	27	28	29	30
進登録店等でマイバ	件数	307	402	366	446	475

ッグを持参して、1,000円以上買い物をした20,000円分(27年度までは15,000円)のレシートが対象として応募できます。平成30年度は、応募口数475口、レシート枚数3,344枚。レシート1枚につきレジ袋(LLサイズ10g)1枚を削減したとして推計し、二酸化炭素削減量は、1枚あたり60g-CO₂とすると、約200kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました(推計)。

○家電製品買換えコース： ◇応募件数

エアコン、冷蔵庫、テレビを	年度	27	28	29	30
消費電力が減少するものに買	件数	12	74	15	10

い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。環境省の「しんきゅうさん:省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、推計二酸化炭素削減量は、約1.3t-CO₂となりました(推計)。

(3) あやせエコっと21(学童編)：市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数127人。

(4) あやせエコっと21(事業所編)：43項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計
新規登録	1	8	14	1	3	0	5	5	10	0	0	2	1	50
50(累計登録件数) - 3(辞退件数) = 47(平成30年度末件数)														

6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取組を推進しており、二酸化炭素排出量について基準年度(平成22年度)と比較し、産業部門、運輸部門、廃棄物部門が減少し、家庭部門、業務部門が増加しました。特に、市役所や学校、病院、事務所等の業務部門からの排出量が増加傾向にあり、その要因として、事業所数の増加や営業時間の延長等があげられます。業務部門と家庭部門の対策としては次のような方法が考えられます。

(1) エネルギー消費量を削減すること

ア 使い方による削減

こまめな消灯や照明の間引き点灯、空調設備の適切な温度調整や室外機の清掃等

イ 買換えによる削減

蛍光灯をLED照明へ、老朽化した空調設備を高効率な設備への買換え等

(2) エネルギーを作り出すこと

ア 家庭や事業所での創エネ

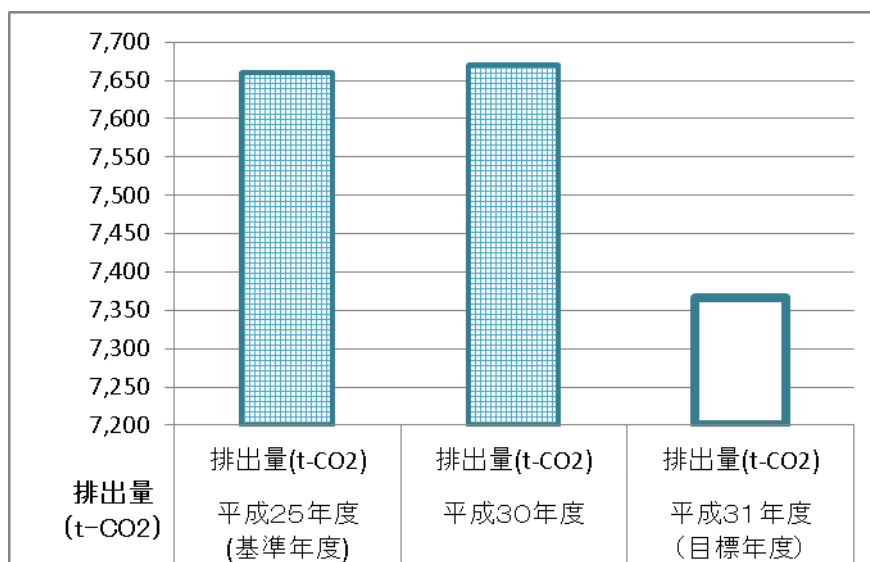
太陽光発電設備や燃料電池の設置等

家庭部門については、微増となりました。市民や市民団体、事業者等と連携し、省エネの実践に向けた意識啓発事業の実施や再生可能エネルギーの活用を支援するとともに、「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21(家庭編)・(学童編)・(事業所編)」を継続実施し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

第2次 綾瀨市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編) 取組結果(平成30年度実績)

二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	平成31年度 (目標年度)
	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
排出量	7,659	7,670	7,367
基準年度比 (%)	—	0.1	△ 3.8



1 第2次（平成27年度～平成31年度）実行計画（事務事業編）の概要

本実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年5月改正）に基づき、第1次実行計画（平成22年度～26年度）を受け、第2次実行計画として平成27年3月に策定し、綾瀬市役所の全ての事務事業から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第2次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

- 計画の目的 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。
- 基準年度 平成25年度
- 計画期間 平成27年度～平成31年度
- 目標年度 平成31年度
- 計画の位置づけ 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。
- 対象事務事業 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業
- 対象温室効果ガス 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕
- 基準年度 平成25年度の二酸化炭素排出量 7,659 t
- 削減目標 二酸化炭素排出量を平成31年度までに、平成25年度比△3.8%

【温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	平成31年度 (2019年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,659	7,367	292
平成25年度比(%)	—	96.2	3.8

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が平成29年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

2 平成30年度の取組状況の把握方法

綾瀬市役所の本庁舎及び市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 平成30年度の二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、平成31年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、平成30年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,670 t-CO2となり、基準年度（平成25年度）と比較すると、11 t-CO2、0.1%増加という結果になりました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
平成30年度の二酸化炭素排出量	: 7,670 t
基準年度に対する増減率	: 0.1%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		平成30年度（2018年度）				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,385,510	kWh	0.206~0.539	5,882,972	kg-CO2
燃料の使用	ガソリン	64,630	L	2.32	149,941	
	灯油	138,868		2.49	345,781	
	軽油	69,472		2.58	179,238	
	A重油	2,770		2.71	7,507	
	液化石油ガス（LPG）	3,283	m3	3.00	9,848	
	都市ガス（13A）	490,210		2.23	1,093,168	
	天然ガス（CNG）	619		2.22	1,374	
合 計					7,669,829	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

※参考資料 P46~49

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年度（平成25年度）と、平成30年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P44～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	燃料等の使用量	二酸化炭素排出量(kg-CO2)						種類別割合 平成30年度			
		単位	基準年度(平成25年度)		平成30年度		対基準年度 増減率				
			平成25年度	平成30年度	排出係数	排出量			排出係数	排出量	
電気の使用	東京電力(株)	kWh	6,532,590	-	0.531	3,468,805	-	-	6.8%	76.7%	
	東京電力エナジーパートナー(株)		-	2,380,432	-	-	0.475	1,130,705			
	昭和シェル石油(株)		1,427,493	-	0.377	538,165	-	-			
	(株)エネット		3,547,870	-	0.423	1,500,749	-	-			
	(株)F-Power		-	4,969,934	0.491	-	0.502	2,494,907			
	リエスパワー(株)		-	534,700	0.521	-	0.521	278,579			
	マイクログリーンエネキ(株)		-	28,647	0.375	-	0.337	9,654			
	イーレックス(株)		-	1,179,063	0.500	-	0.539	635,515			
	丸紅新電力(株)		-	3,228,123	0.389	-	0.409	1,320,302			
	みんな電力(株)		-	64,611	-	-	0.206	13,310			
小計	-	11,507,953	12,385,510	-	5,507,719	-	5,882,972	-	-		
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	64,630	2.32	152,627	2.32	149,941	-1.8%	2.0%	
	灯油		235,061	138,868	2.49	585,302	2.49	345,781	-40.9%	4.5%	
	軽油		68,630	69,472	2.58	177,066	2.58	179,238	1.2%	2.3%	
	A重油		146,200	2,770	2.71	396,202	2.71	7,507	-98.1%	0.1%	
	液化石油ガス(LPG)		5,837	3,283	3.00	17,511	3.00	9,848	-43.8%	0.1%	
	都市ガス(13A)		m3	352,288	490,210	2.23	785,602	2.23	1,093,168	39.2%	14.3%
	天然ガス(CNG)			900	619	2.22	1,998	2.22	1,374	-31.2%	0.0%
小計	-	-	-	-	2,116,308	-	1,786,857	-15.6%	23.3%		
合計	-	-	-	-	7,624,027	-	7,669,829	0.6%	100.0%		

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率 = (平成30年度CO2排出量 - 基準年度CO2排出量) ÷ 基準年度CO2排出量 × 100

※種類別割合 = 各燃料の平成30年度CO2排出量 ÷ 平成30年度CO2総排出量 × 100

電気の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比6.8%増加し、排出割合は、平成30年度の総排出量の76.7%（基準年度72.2%）を占めています。

一方、燃料の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比15.6%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の冷暖房のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、基準年度比で排出量をA重油は98.1%、液化石油ガス(LPG)は43.8%、灯油は40.9%、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換や、ながぐつ児童館の放課後児童クラブ開設（平成28年度）などに伴い、都市ガスの使用量が39.2%増加してしまいましたが、A重油からの転換により、二酸化炭素係数が低いエネルギー源にすることができました。さらに、天然ガス(CNG)の排出量について、リサイクルプラザの車両からになります。平成29年度に1台を廃車としたほか、車の使用頻度の減により、31.2%減少しました。

5 削減目標の取組結果

本実行計画で掲げた削減目標に対する達成削減率は、次のとおりです。

【 削減目標 ⇒ 達成削減率 】 [P 4 4、P 4 5 削減計画内訳達成度 参照]

(1) 市施設の節電行動による $\Delta 41,449\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 2.0% ⇒ あやせ EMSによる進行管理：554,736kg-CO₂ 増加、増加率 26.7% (A)

(2) 本庁舎冷暖房施設機器の更新による $\Delta 104,171\text{kg-CO}_2$ (都市ガス)、削減率 40.0% ⇒ 平成 27 年度に冷暖房施設機器更新済み。平成 30 年度：66,815kg-CO₂ 削減、削減率 25.7% (B)

(3) 本庁舎の LED 照明化 (3,000 本) による $\Delta 101,776\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 20.9% ⇒ 平成 30 年度までに取組なし。

(4) 道路照明灯 50 基の LED 照明化による $\Delta 19,466\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 3.0% ⇒ 平成 30 年度に道路照明灯 10 基を LED 照明化。(平成 27 年度に 18 基、平成 28 年度に 10 基、平成 29 年度に 27 基、計 65 基) 平成 30 年度：113,337 kg-CO₂ 削減、削減率 17.2% (C)

(5) 学校給食センターの設備更新による $\Delta 113,591\text{kg-CO}_2$ (A 重油・LP ガス→都市ガス)、削減率 28.3% ⇒ 平成 27 年度に設備更新済み。平成 30 年度：83,195 kg-CO₂ 削減、削減率 73.2% (D)

(6) 削減目標：塵芥車 1 台のハイブリッド塵芥車更新による $\Delta 2,915\text{kg-CO}_2$ (軽油)、削減率 2.34% ⇒ 平成 29 年度にトラック 1 台をハイブリッドに更新：409kg-CO₂ (軽油) 増加、増加率 0.33% (E)

合計 291,798 kg-CO₂ の増加 ⇒ 目標 383,368 kg-CO₂ 削減：目標達成率 $\Delta 76.1\%$

平成 30 年度は、節電や保健福祉プラザが排出係数の小さい電気事業者と契約する等、二酸化炭素削減に取り組みましたが、二酸化炭素排出量は増加しました。また、塵芥車の更新 (LPG 1 台、軽油 1 台計 2 台廃車→軽油 2 台購入) により、ディーゼル車の割合が増えたため、塵芥車の軽油使用量を削減することができませんでした。

一方、本庁舎や学校給食センターの設備更新に伴い、燃料の使用量は減少しています。

6 今後の取組

燃料使用量については、基準年度と比較し使用量を削減することができています。

平成30年1月より、保健福祉プラザにおいて、排出係数の小さい電力事業者と契約したことで、二酸化炭素排出量を抑えることができました。

しかし、特に、削減目標として掲げている施設について、放課後児童クラブ開設などに伴い電気使用量が増加し、目標を達成できておりません。また、学校の空調設備の更新に伴い、エネルギー源が灯油や都市ガスから電気へ移行しているため、電気使用量が増加しています。

目標達成のため、照明のLED化などの高効率照明への転換や省エネルギー設備の導入、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を進めるとともに、市民サービスを低下させることなく、節電などの省エネルギー行動を継続していく必要があります。

※平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量の算出について

①次のとおり、東京電力(株)の排出係数が修正されました。（環境省）

【東京電力(株)平成25年度排出係数】

（修正前）0.53

（修正後）0.531

②次のとおり、誤りがありました。

【リサイクルプラザのLPガス排出量】

（誤）13,964.89m³

（正）13,964.89ℓ ⇒ 13.96489m³ = 約14m³

【学校給食センター契約の電力事業者】

（誤）(株)エネット：排出係数 0.423

（正）東京電力(株)：排出係数 0.531

これをもとに基準年度排出量を算出し、3.8%の削減目標を設定すると、目標達成状況は次のとおりとなります。（目標値は変更しません。）

	年度	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	平成31年度 (目標年度)
		排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
誤	排出量	7,659	7,670	7,367
	基準年度比 (%)	—	0.1	△ 3.8
正	排出量	7,624	7,670	7,334
	基準年度比 (%)	—	0.6	△ 3.8

あやせ環境教育推進基本計画

—平成27年度～平成35年度—

平成30年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画—平成27年度～平成35年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第8条に基づき、平成27年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条に基づき、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 平成27年度～平成35年度

2 平成30年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、**行動計画(アクションプラン)**として定めた49項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせEMS)」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 平成30年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち43項目を目標どおり実行しました。(資料編参照P50～60)

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

◆(1) 人材の育成と活用 4項目：◎3項目、△1項目

○ 「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加4人以上」の実績は参加1名となり、△：一部未達成となりました。

◆(2) プログラム等の整備と活用 6項目：◎6項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き環境教育に関する教材等の整備を進めていきます。

◆(3) 参加の場や機会づくり 37項目：◎32項目、○3項目、×2項目

○ 「河川等水辺の美化活動の実施50人以上」の実績は47人、「エコっと21事業所編の参加促進53社以上」の実績は47社、「カワセミ新聞の発行1回」の実績は代替措置として市広報紙での周知となり、2項目について○：ほぼ目標どおりとなりました。

また、「事業所対象の講座等の実施1回」の実績は実施0回、「あやせEMSの運用不適合0件」の実績は不適合1件となり、2項目について×：未実施又は未達成となりました。

◆(4) 情報提供と相談体制の整備 2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き情報提供と相談体制の整備を進めていきます。

4 今後の取組

平成30年度は、「(1) 人材の育成と活用」の目標において、アクションプラン4項目中1項目(地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加)が「一部未達成」となりました。この目標の展開方向である「環境保全に関する専門的な知識を持った指導者の育成・活用と、学校等教職員の指導力向上に努めます。」を実現するため、市民団体へ講座の周知を徹底し、環境教育における指導者の育成を推進します。

「(3) 参加の場や機会づくり」の目標において、アクションプラン37項目中2項目(事業所対象の講座等の実施、あやせEMSの運用)を「未実施又は未達成」としました。事業所対象の講座等の実施について、平成30年度内の実績はありません。あやせEMSの運用について、EMS監査において不適合とした事案が1件ありましたが、その後改善措置が図られているところです。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



【資料編】(1)第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標

**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～
平成30年度 環境指標結果**

環境の将来像 I	9指標
----------	-----

○	5指標
△	3指標
×	1指標

※ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
1	1	あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度まで に策定 その後指針に基 づいて推進	推進	環境保全課	未策定 (平成29年度 の環境施策調 整会議におい て策定しないと 決定)	×
2	2	長峰の森等生物生育・生息地の 指定	2箇所(H32)以上	調整	みどり公園課	調整	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
3	3	緑被率	33.7%(H32) を維持	33.7% を維持	都市計画課	37.11%(H27)	○
4	4	緑地の確保	434.3ha(H32) 以上	413.4ha 以上	みどり公園課	406.4ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
5	5	湧水の整備箇所	1箇所	1箇所	みどり公園課	調整	△
6	6	水辺環境の整備への満足度	50%(H32)以上	48%以上		55.0%	○

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
7	7	農用地面積	132ha(H32) の維持	146ha の維持	農業振興課	152ha	○
8	8	市内農業体験農園利用者数	300人(H32) 以上	300人 以上		331人	○
9	9	食育に関心のある人の割合	70%以上	90%以上	健康づくり推進課	63.5%	△

環境の将来像 II	9指標
-----------	-----

○	8指標
△	1指標
×	0指標

※ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
10	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
11	2	有害大気汚染物質に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
12	3	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○

基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
13	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
14	5	地下水の水質汚濁に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
15	6	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
16	7	生活排水処理率	98.6%(H33) 以上	98.4%	リサイクルプラザ	96.8%	△

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
17	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	基地対策課	調査実施	○
18	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○

環境の将来像Ⅲ	10指標
----------------	------

○	5指標
△	5指標
×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
19	1	市内指定文化財件数	15件(H32)以上	14件以上	生涯学習課	14件	○
20	2	文化財保護啓発事業の開催数	4事業	3事業		6事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
21	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(H32)以上	7.04㎡以上	みどり公園課	6.70㎡	△
22	4	市内の緑と公園に満足している市民の割合	52%(H32)以上	49%以上		56.6%	○

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
23	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(H32)以上	48%以上	都市計画課	22.4% (H28)	△
24	6	路線バス利用者数	12,700千人 (H32)以上	12,300千人 以上		11,534千人 (H29)	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
25	7	緑地の確保【基本目標 I-2】	434.3ha(H32) 以上	413.4ha以上	みどり公園課	406.4ha	△
26	8	農用地面積【基本目標 I-4】	132ha(H32) の維持	146ha の維持	農業振興課	152ha	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
27	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人 (H32)以上	1800人 以上	環境保全課	1,153人	△
28	10	環境衛生対策の満足度	80%(H32)以上	60%以上		63.6%	○

環境の将来像Ⅳ	4指標
----------------	-----

○	1指標
△	3指標
×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
29	1	市民1人1日あたりの家庭からの ごみ排出量	662g/人・日 (H33)以下	670g/人・日 以下	リサイクルプラザ	629g/人・日	○
30	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(H33) 以下	2,964t 以下		4,703t	△
31	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(H33) 以下	16,397t 以下		18,622t	△

基本目標 ② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます【リサイクル等】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
32	4	リサイクル率	40%(H33)以上	36.1%以上	リサイクルプラザ	28.4% (H29)	△

環境の将来像Ⅴ	2指標
----------------	-----

○	2指標
△	0指標
×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
33	1 地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(H32)以上	73%以上	環境保全課	76.2% (H28)	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
34	2 補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW(H32) 以上	2,600kW 以上	環境保全課	・30年度: 273.67kW ・累計: 4,675.65kW	○

環境の将来像VI	5指標
----------	-----

○	3指標
△	2指標
×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
35	1 (仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推進	推進	環境保全課	推進	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
36	2 あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	760家庭以上	環境保全課	・節電:120世帯 ・マイバック: 475世帯 ・家電買換え: 10世帯 計605世帯	△

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
37	3 あやせエコっと21事業所(登録事業所)※	100事業所	77事業所	環境保全課	30年度:1事業所 累計:47事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成30年度 目標値	管理担当課	平成30年度 実績	評価
38	4 環境報告書の発行	年1回	年1回	環境保全課	9月に発行	○
39	5 環境情報の発行	年1回	年1回		8月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第2期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像 I						総合評価	
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築) <small>※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>						◎	10
おおよその目標について、「目標どおり」達成することができました。 引き続き、自然共生社会の構築に向けた取り組みを推進します。						○	1
						△	2
						×	0
						評価	
基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます						評価	
全3項目のうち、◎2項目、△1項目となりました。 あやせ生物多様性行動指針の策定については、平成29年度に環境施策調整会議で策定しないこととなりました。						◎	2
						○	0
						△	1
						×	0
行動内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価		
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む							
1	1	あやせ生物多様性行動指針の策定	先進事例 情報収集	先進事例 情報収集	先進事例 情報収集	H28:あやせ環境展で講演会(6月)、麻布大学で開催された生物多様性講座に参加(2月) H29:環境施策調整会議で指針を策定しないと決定、県計画の情報収集 H30:県計画の情報収集	◎
			◎	◎	◎		
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む							
2	2	生物の生育・生息状況調査	1回以上	1回以上	1回以上	H28:目久尻川で水質検査と水生生物調査を実施(7月) H29:ほたる鑑賞会(6月) H30:あやせ環境ネットワークに調査を委託	◎
			◎	◎	◎		
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ							
3	3	祖師谷緑地の保全	保全及び 指定準備	保全及び 指定準備	保全及び 指定準備	H28:情報収集・地権者と調整 H29:情報収集 H30:情報収集	△
			△	△	△		
基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします						評価	
全5項目のうち、◎4項目、△1項目となりました。 No.9-5「生垣奨励事業の推進」については、平成28年度に申請がありましたが、平成29年度及び平成30年度は申請がなかったため、評価を「一部未達成」としました。						◎	4
						○	0
						△	1
						×	0
行動内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価		
方針(2)水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する							
5	1	里山再生と持続可能な森づくり	緑地保全を 累計3か所 以上指定	緑地保全を 累計3か所 以上指定	緑地保全を 累計3か所 以上指定	H28:取内の森、長峰の森、落合キツツキの森など計9か所 H29:取内の森、長峰の森、落合キツツキの森など計9か所 H30:取内の森、長峰の森、落合キツツキの森など計9か所	◎
			◎	◎	◎		

6	2	景観コンクール等による緑の景観の保全	年1回以上 (50人以上)	年1回以上 (50人以上)	年1回以上 (50人以上)	H28：まちかどガーデンコンテストで35人62作品の応募及び展示 H29：緑化フェアで箱庭ガーデンの展示(2,875人) H30：緑化フェアで箱庭ガーデンの展示(2,776人)	◎	
方針(3) 身近な緑をつくり、育てる								
7	3	緑地及び樹木の管理のための補助	40箇所	41箇所	42箇所	H28：40箇所 H29：48箇所 H30：44箇所	◎	
8	4	緑地保全地区の確保	117,310㎡	117,310㎡	117,310㎡	H28：117,310㎡継続 H29：117,310㎡継続 H30：117,310㎡継続	◎	
9	5	生垣推奨事業の推進	1人以上	1人以上	1人以上	H28：申請1件 H29：申請0件 H30：申請0件	△	
						取組内容の実現に向けて	ホームページ等で周知に努めた	
基本目標③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります							評価	
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。								
基本目標④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます							評価	
全5項目のうち、◎4項目、○1項目となりました。 No.12-11「若手農業者、新規就農者の確保」について、平成28年度及び平成29年度は達成しましたが、平成30年度は達成できなかったため、評価を「ほぼ目標どおり」としました。							◎	4
							○	1
							△	0
							×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績		評価	
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する								
12	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上	1人以上	1人以上	H28：4人 H29：3人 H30：0人	○	
						取組内容の実現に向けて	確保に努めたが、平成30年度内の確保には至らなかった。	
13	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人)	年1回以上 (延べ320人)	年1回以上 (延べ320人)	H28：援農ボランティア養成講座(月2回、延べ250人) H29：援農ボランティア養成講座(月2回、延べ360人) H30：援農ボランティア養成講座(月2回、延べ424人)	◎	
14	3	農用地利用集積制度の活用	利用幹旋40件以上	利用幹旋40件以上	利用幹旋40件以上	H28：76件 H29：76件 H30：77件	◎	
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める								
15	4	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	H28：収穫祭の実施への支援(約31,000人、3事業者) H29：収穫祭の実施への支援(約32,000人、3事業者) H30：収穫祭の実施への支援(約32,000人、3事業者)	◎	

16	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上	20%以上	20%以上	H28 : 35% H29 : 37% H30 : 35%	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) <small>※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>							総合評価
行動内容を設定しないため、評価なし。							
基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします							評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。							
基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります							評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。							
基本目標 ③ 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします							評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。							
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち (文化・都市環境の形成) <small>※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>							総合評価
総合評価は、◎4項目、○1項目、△2項目となりました。 昨年度実績と比較し、基本目標③の取り組みが推進されました。							◎ 4 ○ 1 △ 2 × 0
基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます							評価
先進自治体取組例の調査研究を実施したため、◎1項目となりました。							◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績		評価
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る							
22	1	癒しの音風景の検討・発見	研究	研究	研究	H28 : 癒しの音体験教室を開催(8月) H29 : 先進自治体取組例の調査研究 H30 : 先進自治体取組例の調査研究	◎
基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります							評価
景観フォトコンテストについて、平成28年度及び平成29年度は目標どおり実施しましたが、平成30年度は市ホームページでの周知としたため、「ほぼ目標どおり」としました。							◎ 0 ○ 1 △ 0 × 0

行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価
方針(2) 良好な街並みをつくる						
23	1 景観フォトコンテストの実施	年1回以上 (20点以上) ◎	年1回以上 (20点以上) ◎	年1回以上 (20点以上) ×	H28：30人73作品の応募、表彰式を開催(2月) H29：22人77作品の応募、表彰式を開催(2月) H30：市ホームページで良好な景観の周知を行った	○
		取組内容の実現に向けて			平成30年度は、事業改善として、フォトコンテストで収集した作品を市ホームページで広く周知した	
基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します						評価
全5項目のうち、◎3項目、△2項目となりました。 No. 25-1「都市計画道路の整備」及びNo. 26-2「バスの乗り換え拠点の整備」について、目標達成に向けて事業を推進しましたが、未完成であるため、「一部未実施又は一部未達成」としました。 その他3項目については、平成30年度に目標を達成したため、「目標どおり」としました。						◎ 3 ○ 0 △ 2 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価
方針(1) 綾瀬を楽しみながら、環境にやさしく巡れるまちづくりをすすめる						
25	1 都市計画道路の整備	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線 ×	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線 △	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線 △	H28：地権者と合意に至らず H29：整備工事実施(東山線) H30：整備工事実施(東山線)	△
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる						
26	2 バスの乗り換え拠点の整備	駐輪場1か所 ×	駐輪場1か所 ×	駐輪場1か所 △	H28：他課と調整中のため未達成 H29：他課と調整中のため未達成 H30：用地買収を実施した。	△
27	3 コミュニティバスの利用増加(H24年度比) (H24年度利用者数：173,895人)	5%増 ○	6%増 ○	7%増 ◎	H28：約4.3%増(181,439人) H29：約5.8%増(184,090人) H30：約7.8%増(187,486人)	◎
方針(3) 環境にやさしい交通利用をすすめる						
28	4 市道のバリアフリー化	2路線 △	2路線 △	2路線 ◎	H28：市道761号線(工事完了) H29：343号線(一部工事完了) H30：3号線、343号線、411号線(工事完了)	◎
29	5 自転車・歩行者道の整備	250m △	300m △	350m ◎	H28：68.6m工事完了 H29：一部用地買収、整備工事実施(東山線) H30：400m工事完了	◎
基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます						評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。						
基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします						評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。						

環境の将来像Ⅳ						総合評価	
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築)							
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」							
総合評価は、◎4項目、△3項目となりました。 「一部未実施又は一部未達成」となった生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化を推進し、循環型社会の構築を行う必要があります。						◎	4
						○	0
						△	3
						×	0
基本目標① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します						評価	
全4項目のうち、No.31-1「生ごみ処理容器購入費助成」について、目標の8割に達しなかったため、「一部未実施又は一部未達成」としました。 また、No.32-2「家庭系ごみの減量化」について、平成28年度及び平成29年度は目標に達しなかったものの削減することができましたが、平成30年度は基準年度比で増加してしまいました。						◎	2
						○	0
						△	2
						×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価	
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める							
31	1	生ごみ処理容器購入費助成	年51基以上 △	年51基以上 △	年51基以上 △	H28：31基 H29：28基 H30：32基	△
32	2	家庭系ごみの減量化	1%削減 △	2%削減 △	3%削減 ×	H28：0.66%削減 H29：1.30%削減 H30：0.85%増加	△
33	3	マイバック等の持参啓発	年1回以上 (1団体以上) (50人以上) ◎	年1回以上 (1団体以上) (50人以上) ◎	年1回以上 (1団体以上) (50人以上) ◎	H28：152人、366口(エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店：26店 H29：182人、446口(エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店：26店 H30：197人、475口(エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店：26店	◎
方針(2) 廃棄物の適正処理を進める							
34	4	中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上 ◎	年1回以上 ◎	年1回以上 ◎	H28：高座清掃施設組合ダイオキシンの立会い、搬入物検査立会い H29：高座清掃施設組合ダイオキシンの立会い、搬入物検査立会い H30：高座清掃施設組合ダイオキシンの立会い、搬入物検査立会い	◎
基本目標② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます						評価	
全3項目のうち、No.39-2「ツカエルフェアの開催」について、平成29年度より品質の高い再生家具を提供するために開催回数を2回に減少させたことにより「一部未達成」となりました。						◎	2
						○	0
						△	1
						×	0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価	
方針(1) 循環型社会の構築を進める							
38	1	循環型社会構築に向けた拠点としての活用と活性化	事業1回以上 ◎	事業1回以上 ◎	事業1回以上 ◎	H28：自治会3回、小学生3回 H29：おもちゃの病院24回、家具類補修教室5回、補修ボランティア養成講座5回 H30：おもちゃの病院24回、家具類補修教室20回、補修ボランティア養成講座5回	◎

方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める						
39	2	ツカエルフェアの開催	年4回以上 ◎	年4回以上 △	年4回以上 △	H28：4回 H29：2回 H30：2回 △
40	3	ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上 ◎	80%以上 ◎	80%以上 ◎	H28：82% H29：84% H30：85% ※毎月10日間のごみの排出量に占めるリサイクル資源と可燃ごみの割合から推計 ◎
環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」						
総合評価は、◎15項目、○1項目、△4項目、×5項目となりました。 昨年度実績と比較し、市役所の電力使用量削減目標を達成していますが、設備更新の余地がないか、検討をすすめています。						◎ 15 ○ 1 △ 4 × 5
基本目標① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます						
全18項目のうち、◎11項目、○1項目、△2項目、×4項目となりました。 平成30年度について、庁内で節電等に取り組んだ結果、No. 43-3「市役所の電気使用量の削減(平成25年度比)」の目標達成することができました。 一方、No. 45-5「市役所の水道使用量の削減(平成25年度比)」について、目標達成することができませんでした。節水等に努めていますが、衛生面の観点からも削減は難しい現状です。						◎ 11 ○ 1 △ 2 × 4
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績	評価
方針(2) 省エネを進める						
41	1	電気自動車の導入補助	10件以上 ◎	10件以上 ◎	10件以上 ◎	H28：12件 H29：15件 H30：12件 ◎
42	2	雨水貯留槽設置の助成	10件以上 △	10件以上 ×	10件以上 ×	H28：5件 H29：0件（助成終了） H30：0件（助成終了） 問合せの際、助成はなくなったが省資源となる旨を説明し、設置促進に努めた。 ×
43	3	市役所の電気使用量の削減(平成25年度比)	2%削減 ×	3%削減 ×	4%削減 ◎	(H25：1,430,150kWh) H28：1,469,252kWh(3%増) H29：1,440,583kWh(1%増) H30：1,341,169kWh(6%減) △
44	4	市役所の都市ガス使用量の削減(平成25年度比)	20%削減 ◎	30%削減 △	40%削減 △	(H25：116,784m³) H28：89,451m³(23%削減) H29：92,939m³(20%削減) H30：86,822m³(26%削減) △
45	5	市役所の水道使用量の削減(平成25年度比)	2%削減 ×	3%削減 ×	4%削減 ×	(H25：3,984m³) H28：6,162m³(55%増) H29：5,158m³(29%増) H30：6,220m³(56%増) 維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する ×

46	6	あやせエコっと21（事業編）への参加促進※	累計49事業 所以上	累計51事業 所以上	累計53事業 所以上	H28：44事業者 H29：46事業所 H30：47事業所	○
			○	○	○		
47	7	省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰	1事業所以上	累計2事業 所以上	累計3事業 所以上	H28：顕彰は行なわないことと決定 H29：環境報告書で事業所の取組を紹介 H30：環境報告書で事業所の取組を紹介	×
			×	×	×		
			取組内容の実現に向けて			顕彰は行なわないこととした（H28）	
48	8	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進（電気自動車導入補助）	導入補助 10件以上	導入補助 10件以上	導入補助 10件以上	H28：12件 H29：15件 H30：12件	◎
			◎	◎	◎		
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める							
49	9	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買収	目久尻川親水公園の用地整備	目久尻川親水公園の公開	H28：詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行なったが、地権者の同意を得られず。 H29：地権者と調整（4回） H30：地権者と調整（1回）	×
			×	×	×		
取組内容の実現に向けて			引き続き交渉する				
50	10	街灯・道路照明のLED化の推進	累計30基以上	累計40基以上	累計50基以上	H27：18基 H28：10基 H29：27基 H30：10基 計：65基	◎
			○	◎	◎		
51	11	歩道や散策道など歩行者空間の整備	1路線	累計2路線以上	累計3路線以上	H28：市道3号線、411号線（買収完了）、市道761号線（工事完了） H29：一部用地買収、整備工事実施（東山線） H30：3号線、343号線、411号線（工事完了）、整備工事実施（東山線）	◎
			◎	△	◎		
52	12	自転車道やサイクリングコースの整備	研究	研究	研究	H28：一部工事完了 H29：護岸改修を早期に実施するよう県に要請 H30：一部工事着手	◎
			◎	◎	◎		
53	13	自転車走行ゾーンの検討と整備	1路線	累計2路線以上	累計3路線以上	H28：市道1号線（工事完了） H29：市道116号線（工事完了） H30：市道20号線（工事完了）	◎
			◎	◎	◎		
54	14	透水性舗装の促進	200m	200m	200m	H28：市道3号線、411号線（買収完了）、市道761号線（工事完了） H29：市道343号線（193m） H30：市道343号線（200m）	◎
			△	○	◎		
方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める							
55	15	スマートエネルギー設備導入補助	30件以上	40件以上	50件以上	H28：58件 H29：90件 H30：75件	◎
			◎	◎	◎		
56	16	事業所における省エネ診断などの促進	1事業所以上	累計2事業 所以上	累計3事業 所以上	H28：さがみ野工業団地協同組合対象省エネ講座（11月）（10社） H29：商工会対象省エネ講座（3月）（8社） H30：実績なし	◎
			◎	◎	◎		

57	17	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上	啓発年1回以上	啓発年1回以上	H28：事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 H29：事業所のEMS導入促進を掲載(2/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 H30：事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎
58	18	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上	啓発年1回以上	啓発年1回以上	H28：あやせ環境展(11月)で、事業者向け省エネ活動の普及活動に関する展示 H29：あやせ環境展(11月)での展示のほか、2/1号広報あやせで啓発 H30：6/1号広報あやせで啓発	◎
基本目標② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます							評価
全7項目のうち、◎4項目、△2項目、×1項目としました。 No. 64-5「公園でのハイブリッド照明灯等の導入」について、「未実施又は未達成」としましたが、代替としてLED照明の導入を進めています。 また、No. 60-1「住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」及びNo. 61-2「共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」について、目標の件数に達しなかったため、「一部未実施又は一部未達成」としました。							◎ 4 ○ 0 △ 2 × 1
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績		評価
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める							
60	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成100件以上	助成100件以上	助成100件以上	H28：83件 H29：57件 H30：54件	△
61	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	助成1件以上	助成1件以上	H28：1件 H29：0件 H30：0件	△
			取組内容の実現に向けて			広報あやせ等で周知に努めた。	
62	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	助成1件以上	助成1件以上	H28：5件 H29：1件 H30：1件	◎
63	4	市の施設への太陽光発電設備の導入	1施設以上	1施設以上	-	H28：太陽光パネル設置(綾南小) H29：太陽光パネル設置(保健福祉プラザ)	◎
64	5	公園でのハイブリッド照明灯等の導入	2基以上	2基以上	2基以上	H28：ソーラー照明灯等を設置可能な箇所なし H29：高額のためLED照明灯の導入を検討 H30：代替としてLED照明灯を7基導入	×
			取組内容の実現に向けて			引き続きLED照明灯等代替機器の導入を進める。	
65	6	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集	情報収集	情報収集	H28：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集 H29：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集 H30：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集	◎

66	7	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集	情報収集	情報収集	H28：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集 H29：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集 H30：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集	◎
◎							◎
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち (協働社会の構築) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」							総合評価
評価対象の2目標について「目標どおり」となりました。							◎ 2 ○ 0 △ 0 × 0
基本目標① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます							評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。							
基本目標② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます							評価
リサイクルプラザでツカエルフェアなどを開催することにより、環境学習拠点として活用することができました。							◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績		評価
方針(3) 環境交流と連携を深め、協働を進める							
68	1	環境学習拠点としての活用	事業実施年4回以上	事業実施年4回以上	事業実施年4回以上	H28：おもちゃの病院、家具類補修教室、補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア実施 H29：おもちゃの病院24回、家具類補修教室5回、補修ボランティア養成講座5回 H30：おもちゃの病院24回、家具類補修教室20回、補修ボランティア養成講座5回	◎
◎							◎
基本目標③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます							評価
工場立地法市準則条例の制定について、平成30年度に目標どおり制定することができました。							◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	取組実績		評価
方針(2) 事業活動における環境対策を進める							
69	1	工場立地法市準則条例の制定	研究・情報収集	研究・情報収集、パブコメの実施	制定	H28：工場立地担当者会議に出席(2回) H29：パブコメの実施、議会の承認 H30：制定	◎
◎							◎
基本目標④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます							評価
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。							

※環境指標から目標値を見直しています。

(空ページ)

【資料編】(3) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料 削減計画内訳達成度

施設名	30年度二酸化炭素排出量(kg-CO2)								30年度 排出量計	25年度 排出量計
	A重油	灯油	都市 ガス	ガソ リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力		
本庁舎(管財契約課)	0	0	193,613	0	0	0	0	673,267	866,880	798,593
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	12,771	0	0	0	0	12,405	25,176	23,436
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,218	0	13,509	14,728	23,085
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,256	2,256	3,300
大上保育園(子育て支援課)	0	0	24,182	0	0	0	0	29,108	53,290	49,406
綾南保育園(子育て支援課)	0	0	24,325	0	0	0	0	28,031	52,356	50,235
旧保健医療センター	0	0	0	0	0	0	0	9,654	9,654	54,013
寺尾児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	14	0	5,065	5,078	3,731
小園児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	33	0	3,209	3,242	2,127
ながづつ児童館(青少年課)	0	0	3,162	0	0	0	0	9,249	12,411	6,226
リサイクルプラザ	0	1,101	48,705	0	0	0	0	57,873	107,679	111,152
市内公園(みどり公園課)	0	0	0	270	0	0	0	175,138	175,408	170,269
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	544,623	544,623	659,201
道路補修(道路管理課)	0	0	0	0	0	24	0	0	24	767
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	108	0	1,254,667	1,254,775	1,537,470
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	65,636	65,636	84,917
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	34,502	34,502	38,853
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	23	23	25
消防本部(消防総務課)	0	0	0	0	0	3,642	0	65,892	69,534	81,994
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	1,912	0	24,679	26,591	21,733
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,151	0	25,000	27,151	43,116
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,131	1,131	1,232
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	5	0	1,446	1,450	1,493
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,011	1,011	1,176
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	7	0	1,121	1,128	1,095
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	1	0	1,701	1,702	1,297
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	978	978	1,389
綾瀬小学校	0	0	46,150	0	0	0	0	150,997	197,147	118,574
綾北小学校	0	0	0	46	0	42	0	86,805	86,893	62,757
綾西小学校	0	0	62,799	46	0	57	0	102,785	165,687	112,918
早園小学校	0	0	85	93	0	0	0	79,781	79,959	52,935
綾南小学校	0	0	74	107	0	0	0	95,520	95,700	58,637
天台小学校	0	0	49	31	0	0	0	111,417	111,497	57,800
北の台小学校	0	13,695	0	70	0	45	0	94,799	108,608	152,139
落合小学校	0	59,760	0	64	0	60	0	64,244	124,128	108,848
土棚小学校	0	0	10,175	93	0	0	0	101,433	111,701	112,544
寺尾小学校	0	80,676	0	48	0	49	0	90,348	171,121	119,919
綾瀬中学校	0	80,801	0	46	0	160	0	115,602	196,608	158,650
綾北中学校	0	4,980	0	111	0	56	0	165,227	170,374	229,196
城山中学校	0	0	0	93	0	38	0	129,445	129,575	181,165
北の台中学校	0	104,580	0	232	0	133	0	133,882	238,827	178,666
春日台中学校	0	0	0	92	0	84	0	134,364	134,540	135,470
学校給食センター	7,507	0	310,079	0	0	0	0	164,992	482,578	565,573
適応指導教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,155	2,155	2,722
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	189	0	0	0	6	0	1,797	1,993	2,732
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	88,966	0	0	0	0	278,579	367,545	359,020
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	169,772	0	0	0	0	454,708	624,480	509,667
中村地区センター	0	0	0	0	0	0	0	14,636	14,636	18,429
早園地区センター	0	0	0	0	0	0	0	5,830	5,830	5,462
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	0	0	9,959	9,959	9,946
綾南地区センター	0	0	0	0	0	0	0	29,847	29,847	31,940
北の台地区センター	0	0	0	0	0	0	0	26,536	26,536	29,621
寺尾いずみ会館	0	0	48,433	0	0	0	0	59,370	107,804	73,947
南部ふれあい会館	0	0	49,314	0	0	0	0	55,096	104,410	74,040
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	5,834	5,834	-
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,802	3,802	-
保健福祉プラザ	0	0	513	0	0	0	0	72,012	72,525	-
管財契約課管理公用車	0	0	0	82,341	7,131	0	0	0	89,473	99,243
リサイクルプラザ管理公用車※	0	0	0	4,263	125,184	5	1,374	0	130,827	131,021
道路課管理公用車	0	0	0	4,479	9,423	0	0	0	13,901	17,721
消防総務課管理公用車	0	0	0	57,415	37,500	0	0	0	94,916	81,394
合計	7,507	345,781	1,093,168	149,941	179,238	9,848	1,374	5,882,972	7,669,829	7,624,027

※基準年度である平成25年度のLPガス使用量に誤り及び東京電力の排出係数に変更がありました。計画値は変更しません。

平成25年度総排出量(計画値)7,659,347

・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

25・30年度比較		削減目標					30年度目標達成値		
増減率 %	増減量 kg-CO2	削減内容	削減率 %	削減 kg-CO2	達成時 kg-CO2	達成時 施設全体 kg-CO2	削減率 %	削減 kg-CO2	達成率%
9%	68,287	都市ガス△40% ⑥	40.0%	104,171	156,257	581,883	⑥ 25.7%	66,815	64%
		節電行動 ①	2.0%	10,763	425,626		-25.1%	-135,102	-120%
		照明器具3,000本をLED化	20.9%	101,776			0.0%	0	
7.4%	1,740	節電行動 ①	2.0%	257	12,576	23,155	3.3%	428	167%
-36.2%	-8,357			436	21,357	22,608	38.0%	8,284	1901%
-31.6%	-1,043			66	3,228	3,228	31.5%	1,037	1575%
7.9%	3,884			589	28,879	48,761	1.2%	360	61%
4.2%	2,120			545	26,686	49,639	-2.9%	-800	-147%
-82.1%	-44,359			1,075	52,668	52,837	82.0%	44,089	4102%
36.1%	1,348			74	3,637	3,650	36.5%	-1,353	-1823%
52.4%	1,115			40	1,948	2,084	-61.5%	-1,222	-3073%
99.3%	6,185			112	5,468	6,104	-65.8%	-3,669	-3288%
-3.1%	-3,473			1,226	60,056	109,810	5.6%	3,409	278%
3.0%	5,139						169,950		
-17.4%	-114,579	道路照明灯50本をLED化 ⑦	3.0%	19,466	638,494	638,494	⑦ 17.2%	113,337	582%
-96.9%	-743				767				
-18.4%	-282,696				1,534,575				
-22.7%	-19,281				84,757				
-11.2%	-4,352				38,780				
-10.5%	-3				25				
-15.2%	-12,460	節電行動 ①	2.0%	1,538	75,379	80,311	14.3%	11,025	717%
22.4%	4,858			385	18,875	21,312	-28.1%	-5,419	-1407%
-37.0%	-15,965			818	40,084	42,221	38.9%	15,901	1944%
-8.2%	-101			25	1,202	1,205	7.8%	96	391%
-2.8%	-42			30	1,453	1,460	2.5%	37	125%
-14.0%	-165			23	1,147	1,150	13.7%	160	683%
3.0%	33			22	1,062	1,071	-3.4%	-37	-169%
31.2%	405			26	1,263	1,269	-32.0%	-412	-1600%
-29.6%	-411			28	1,356	1,358	29.3%	406	1466%
66.3%	78,573			1,847	90,517	116,726	-63.5%	-58,632	-3174%
38.5%	24,136			1,219	59,734	61,538	-42.4%	-25,852	-2121%
46.7%	52,769			1,447	70,879	111,472	-42.1%	-30,459	-2106%
51.1%	27,024			1,018	49,882	51,917	-56.7%	-28,882	-2837%
63.2%	37,063			1,149	56,324	57,487	-66.2%	-38,046	-3310%
92.9%	53,697			1,127	55,225	56,673	-97.7%	-55,066	-4886%
-28.6%	-43,531			1,343	65,827	150,796	-41.1%	-27,628	-2057%
14.0%	15,280			974	47,715	107,874	-31.9%	-15,555	-1597%
-0.7%	-843			1,259	61,681	111,285	-61.2%	-38,493	-3058%
42.7%	51,202			1,301	63,731	118,619	-38.9%	-25,317	-1947%
23.9%	37,958			2,018	98,906	156,632	-14.5%	-14,677	-727%
-25.7%	-58,822			2,389	117,041	226,807	-38.3%	-45,798	-1917%
-28.5%	-51,590	1,728	84,694	179,436	-49.8%	-43,022	-2489%		
33.7%	60,162	1,777	87,084	176,888	-50.7%	-45,021	-2533%		
-0.7%	-930	2,672	130,928	132,798	-0.6%	-763	-29%		
-14.7%	-82,995	A重油、LPガスを都市ガスに変更 ⑧	28.3%	113,591	287,190 (164,481)	451,671	⑧ 20.8%	83,195	73%
-20.8%	-567	節電行動 ①	2.0%	54	2,657	2,663	20.5%	556	1025%
-27.1%	-739			50	2,447	2,677	28.0%	699	1401%
2.4%	8,525				358,491				
22.5%	114,813				509,667				
-20.6%	-3,793				18,394				
6.7%	368				5,452				
0.1%	12				9,928				
-6.6%	-2,094				31,895				
-10.4%	-3,086				29,580				
45.8%	33,856				73,872				
41.0%	30,370				73,959				
-	-				9,928				
-	-				3,759				
-	-				131,236				
-9.8%	-9,770				99,243				
-0.1%	-194	塵芥車(軽油)1台をハイブリッド化 ⑨	軽油 2.34%	2,915	121,860 (48,099)	169,959	⑨ -0.33%	-409	-14%
-21.6%	-3,819				17,721				
16.6%	13,521				81,394				
0.6%	45,803			383,368	3,133,025	7,420,902		-291,798	-76.1%

[p25 5(1)] ①: 節電行動設定施設の電力使用に係る平成30年度kg-CO2の合計(2,627,185kg-CO2) ÷ 節電行動設定施設の電力使用に係る平成25年度kg-CO2の合計(2,072,449kg-CO2) ※
=約26.7%増

※電力使用による二酸化炭素排出量から集計(p45参照)

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	379	116	-263	880	270	-610	-69.3%
小学校10校	322	258	-65	748	598	-150	-20.0%
中学校5校	181	247	67	419	574	155	36.8%
公用車	64,905	64,008	-897	150,580	148,499	-2,081	-1.4%
合計	65,788	64,630	-1,158	152,627	149,941	-2,686	-1.8%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (青少年課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	442	199	605	1,101	496	81.9%
小学校10校	86,553	61,900	-24,653	215,517	154,131	-61,386	-28.5%
中学校5校	141,814	76,450	-65,364	353,117	190,361	-162,756	-46.1%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	76	-14	224	189	-35	-15.6%
地区センター2館	6,321	0	-6,321	15,739	0	-15,739	-100.0%
合計	235,061	138,868	-96,193	585,302	345,781	-239,520	-40.9%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (管財契約課)	116,784	86,822	-29,962	260,428	193,613	-66,815	-25.7%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	5,727	983	10,579	12,771	2,192	20.7%
大上保育園 (子育て支援課)	8,916	10,844	1,928	19,883	24,182	4,299	21.6%
綾南保育園 (子育て支援課)	10,293	10,908	615	22,953	24,325	1,371	6.0%
ながぐつ児童館 (青少年課)	285	1,418	1,133	636	3,162	2,527	397.5%
リサイクルプラザ	22,040	21,841	-199	49,149	48,705	-444	-0.9%
小学校6校	47,733	53,512	5,779	106,445	119,332	12,887	12.1%
学校給食センター	0	139,049	139,049	0	310,079	310,079	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	39,895	4,757	78,358	88,966	10,608	13.5%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	76,131	-1,159	172,357	169,772	-2,585	-1.5%
寺尾いずみ会館	15,281	21,719	6,438	34,077	48,433	14,357	42.1%
南部ふれあい会館	13,784	22,114	8,330	30,738	49,314	18,576	60.4%
保健福祉プラザ	0	230	230	0	513	513	皆増
合計	352,288	490,210	137,922	785,602	1,093,168	307,566	39.2%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	69,472	961	176,759	179,238	2,480	1.4%
合計	68,630	69,472	842	177,066	179,238	2,173	1.2%

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	0	-200	542	0	-542	-100.0%
学校給食センター	146,000	2,770	-143,230	395,660	7,507	-388,153	-98.1%
合計	146,200	2,770	-143,430	396,202	7,507	-388,695	-98.1%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障がい福祉課)	417	406	-11	1,251	1,218	-33	-2.6%
旧保健医療センター	56	0	-56	169	0	-169	-100.0%
児童館2館	16	16	-1	49	47	-2	-4.3%
道路補修 (道路管理課)	75	8	-67	225	24	-201	-89.3%
浄水管理センター (下水道課)	47	36	-11	141	108	-33	-23.4%
消防本部 (消防総務課)	1,644	1,214	-430	4,932	3,642	-1,290	-26.2%
消防北分署 (消防総務課)	812	637	-175	2,437	1,912	-525	-21.5%
消防南分署 (消防総務課)	712	717	5	2,137	2,151	14	0.7%
分団6車庫 (消防総務課)	10	4	-6	30	12	-17	-58.6%
小学校6校	54	84	30	162	253	90	55.6%
中学校5校	124	157	33	371	470	100	26.9%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財取蔵庫 (生涯学習課)	2	2	0	6	6	0	0.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	0	-46	138	0	-138	-100.0%
地区センター5館	99	0	-99	296	0	-296	-100.0%
小計	5,823	3,281	-2,542	17,469	9,842	-7,627	-43.7%
公用車 ※	14	2	-12	42	5	-37	-87.2%
合計	5,837	3,283	-2,554	17,511	9,848	-7,663	-43.8%

※ 計画時、平成25年度の使用量に誤り (誤) 13,965.0m³ ⇒ (正) 13.965m³ = 約14m³
合計 (誤) 19,788.0m³ ⇒ (正) 5,837.000m³

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	619	-281	1,998	1,374	-624	-31.2%
合計	900	619	-281	1,998	1,374	-624	-31.2%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)		
	25年度 (基準年度)	30年度	対基準年度 増減量
本庁舎 (管財契約課)	1,427,493	1,341,169	-86,324
綾北福祉会館 (福祉総務課)	24,213	26,115	1,902
もみの木園 (障がい福祉課)	41,119	28,441	-12,678
本蓼川墓園 (高齢介護課)	6,214	4,750	-1,464
大上保育園 (子育て支援課)	55,600	61,280	5,680
綾南保育園 (子育て支援課)	51,378	59,012	7,634
旧保健医療センター	101,402	28,647	-72,755
児童館3館 (青少年課)	21,281	36,890	15,609
リサイクルプラザ	115,626	121,837	6,211
市内公園 (みどり公園課)	318,421	368,711	50,290
道路照明灯 (道路管理課)	1,241,434	1,146,574	-94,860
浄水管理センター (下水道課)	2,895,159	3,067,645	172,486
上土棚中継ポンプ場 (下水道課)	159,919	160,478	559
マンホールポンプ (下水道課)	73,170	72,635	-535
流量計2基 (下水道課)	48	48	0
消防本部 (消防総務課)	145,127	138,720	-6,407
消防北分署 (消防総務課)	36,340	51,956	15,616
消防南分署 (消防総務課)	77,173	52,632	-24,541
分団6車庫 (消防総務課)	14,410	15,553	1,143
小学校10校	1,499,289	1,948,463	449,174
中学校5校	1,251,156	1,351,633	100,477
学校給食センター ※	310,342	328,669	18,327
適応指導教室 (教育研究所)	5,115	4,537	-578
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	4,711	3,784	-927
市民スポーツセンター (スポーツ課)	528,294	534,700	6,406
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	843,614	46,189
地区センター5館	149,460	166,168	16,708
内訳		(43,087)	
		(123,081)	
寺尾いずみ会館	75,086	110,149	35,063
南部ふれあい会館	81,548	102,219	20,671
神崎遺跡資料館	0	12,282	12,282
綾西高齢者憩いの家	0	8,005	8,005
保健福祉プラザ	0	188,194	188,194
		(123,583)	
		(64,611)	
合計	11,507,953	12,385,510	877,557

※ 東京電力(株)の排出係数に修正有 (環境省発表) (修正前) 0.53 ⇒ (修正後) 0.531

※ 計画時、平成25年度の電力事業者に誤り (誤) (株)エネット ⇒ (正) 東京電力(株)

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)				
25年度(基準年度)			30年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量	電力事業者	排出係数	排出量		
昭和シェル石油(株)	0.377	538,165	(株)F-Power	0.502	673,267	135,102	25.1%
東京電力(株) ※	0.531	12,857	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	12,405	-452	-3.5%
		21,834			13,509	-8,325	-38.1%
		3,300			2,256	-1,043	-31.6%
		29,524			29,108	-416	-1.4%
		27,282			28,031	749	2.7%
		53,844	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.337	9,654	-44,190	-82.1%
		11,300	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	17,523	6,223	55.1%
		61,397			57,873	-3,525	-6%
		169,082			175,138	6,056	3.6%
		659,201			544,623	-114,579	-17.4%
		1,537,329	丸紅新電力(株)	0.409	1,254,667	-282,663	-18.4%
		84,917			65,636	-19,281	-22.7%
		38,853	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	34,502	-4,352	-11.2%
		25			23	-3	-10.5%
		77,062			65,892	-11,170	-14.5%
19,297	24,679	5,383			27.9%		
40,979	25,000	-15,979			-39.0%		
7,652			7,388	-264	-3.5%		
(株)エネット	0.423	634,199	(株)F-Power	0.502	978,128	343,929	54%
		529,239			678,520	149,281	28%
東京電力(株) ※	0.531	164,792	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	164,992	200	0.1%
		2,716			2,155	-561	-20.7%
		2,502			1,797	-704	-28.1%
		280,524	リエスパワー(株)	0.521	278,579	-1,945	-0.7%
(株)エネット	0.423	337,311	イーレックス(株)	0.539	454,708	117,397	34.8%
東京電力(株) ※	0.531	79,363			86,807	7,444	9.4%
			東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	(20,466)		
			イーレックス(株)	0.539	(66,341)		
東京電力(株) ※	0.531	39,871	イーレックス(株)	0.539	59,370	19,500	48.9%
		43,302			55,096	11,794	27.2%
-	-	0	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	5,834	5,834	皆増
-	-	0			3,802	3,802	皆増
-	-	0	東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	72,012	72,012	皆増
					東京電力エナジー パートナー(株)	0.475	(58,702)
			みんな電力(株)	0.206	(13,310)		
		5,507,719			5,882,972	375,253	6.8%

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用:4項目				総合評価	
全4項目のうち、No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」については、周知を図ったものの目標人数の参加が得られませんでした。 その他3項目については、環境に関する専門的な知識を持つ指導者の育成や活用、学校等教職員の指導力向上に取り組み、「目標どおり」実施しました。				◎	3
				○	0
				△	1
				×	0
ア 指導者の育成等	30年度	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修(6月) 10人参加 自然環境調査研究会を毎月開催 60人以上参加	◎		
② 地域社会における指導者の育成					
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	4人以上	県環境科学センター主催講座(10月～11月)1人参加	△		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	30年度	取組実績	評価		
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	4講座以上	ミニソーラークッカーをつくろう！(7月) 水質検査教室(8月) 環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	4回以上	ミニソーラークッカーをつくろう！(7月) 水質検査教室(8月) 環境展(東京ガス、環境紙芝居)(11月)	◎		
(2) プログラム等の整備と活用:6項目				総合評価	
学習教材等を活用し、市民への環境保全に関する取組機会の提供に取り組み、6項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	6
				○	0
				△	0
				×	0
ア 教材・プログラムの整備	30年度	取組実績	評価		
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	環境学習プログラム集第4版を発行(11月)	◎		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎		
7 学校等における環境問題が正しく理解できるよう発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	「綾瀬の野草」及び「綾瀬市環境学習ハンドブックかわせみ」の改訂に向けた研究(10回)	◎		
イ 教材・プログラムの活用	30年度	取組実績	評価		
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(11月)、保育園に情報提供を実施(12月)	◎		
9 環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	「綾瀬の野草」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎		

10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体の協力	5団体以上	市民団体3団体、事業所1社、大学1校、市計6団体	◎
(3) 参加の場や機会づくり:37項目				総合評価
全37項目のうち、No.28「河川等水辺の美化活動の実施」、No.42「エコっと21事業所編の参加促進」については、目標には達しませんでした、目標の8割以上は達成しているため、「ほぼ目標どおり」としました。				◎ 32
No.45「カワセミ新聞の発行」については、広報あやせでの周知に変更したため、「一部未達成」と評価しました。				○ 3
No.22「事業所対象の講座等の実施」及びNo.46「あやせEMSの運用」について、「未実施又は未達成」でした。				△ 0
				× 2
ア 学校等における環境教育等の充実		30年度	取組実績	評価
① 幼稚園・保育園での環境教育の充実				
幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。				
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(11月)、保育園に情報提供を実施(12月)	◎
環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります				
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします				
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち				
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
イ 家庭・地域社会における環境教育の充実		30年度	取組実績	評価
① 環境に関する学習機会の充実				
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。				

知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。

18	環境展等のイベントの実施	6回以上	緑化フェア(5月)、美化キャンペーン(5月)、エコっと21(家庭編)キャンペーン(6-10月)、投棄防止キャンペーン(7月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎
19	体験学習等講座(教室)の実施	6回以上	ソーラークッカーをつくろう!(7月)、水質検査教室(8月)、リサイクル現場学習会(8月)、宮ヶ瀬ダム見学会(8月)、エコクッキング(8月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎

② 市民団体との連携・協働と支援

20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	6回以上	あやせ環境ネットワークなどとの協働により講座を実施	◎
21	団体活動の支援	1団体以上	NPO法人ふるさと環境市民、綾瀬城山ほたる保存会	◎

ウ	事業所が行う環境教育等への支援	30年度	取組実績	評価
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	実施には至らなかった。	×
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	環境学習プログラム集を発行	◎
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	環境学習プログラム集を発行	◎

※ 家庭・地域社会・事業者共通 30年度 取組実績 評価

環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます

25	生物多様性に係る情報の提供	2回以上	緑化フェア(5月)、環境展(11月)	◎
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	宮ヶ瀬ダム見学会(8月)、環境展(11月)	◎

基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします

27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	緑化フェア(5月)	◎
----	------------------	------	-----------	---

基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります

28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦(5月、10月)、比留川不法投棄パトロール(5回) 計47人参加	○
----	---------------	-------	--	---

基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	計9回30組参加	◎
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	計5回実施	◎
31	食育講座の実施	1回以上	保健福祉プラザで実施(11月) 35人参加	◎

環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち			
基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします			
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月) ◎
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月) ◎
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち			
基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます			
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	神崎遺跡資料館等で各種体験教室、環濠公開を実施 ◎
基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます			
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	自主防災組織の防災訓練及び市総合防災訓練 ◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち			
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します			
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	自治会説明会4回、施設見学会4回、出前講座1回 計9回 ◎
基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます			
37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	おもちゃの病院、家具類補充教室、補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア等 計45回 ◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち			
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます			
38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	4回以上	EMS実行員研修(4月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(7月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月) ◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	4回以上	エコっと21、ソーラークッカーをつくろう!(7月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月) ◎
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	参加者:267人 ◎
環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち			
基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます			
41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	学びスクール(6月)、課題解決セミナー(1~2月) ◎
基本目標Ⅵ-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます			
42	エコっと21事業所編の参加促進 ※①	53社以上	47社 ○
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	ふれあい農業体験収穫祭時、農業や畜産のPR資料を配布(12月) ◎

基本目標VI-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					
44	環境関連報告書の発行	1回	環境報告書(平成29年度取組結果)発行(9月)	◎	
45	カワセミ新聞の発行	1回	市広報紙での周知に変更	○	
エ	市職員への環境教育の推進(環境保全課)	30年度	取組実績	評価	
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合1件	×	
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)	◎	
(4) 情報提供と相談体制の整備:2項目				総合評価	
環境月間や環境都市宣言などの機会をとらえて、環境教育等を含む環境保全に関する情報の提供に取り組み、2項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	2
				○	0
				△	0
				×	0
ア	情報の提供	30年度	取組実績	評価	
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	環境月間の特集や美化活動、環境学習講座、環境展開催等を広報あやせや市ホームページに掲載	◎	
イ	相談、問合せへの対応	30年度	取組実績	評価	
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎	

□ 小・中学校における行動計画:アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目

(3)参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)

各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。

学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活に関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。

児童・生徒それぞれの発達段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。

地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。

環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます		
1 2	小学校	身近な自然の観察
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ
1 2 3 4	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ
		自然環境保全の重要性を学ぶ
		地球温暖化、外来種を学ぶ

		基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
3	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
5	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ
		基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
6	中学校	自然愛護を学ぶ
		基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ※②
		環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
		基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
7		公害の防止など環境の保全を学ぶ
8	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
9		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ
		基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ※②
		環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
		基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
		基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
		基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします
10	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する※②
		環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
		基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
		基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ


環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
基本目標V-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます		
13	小学校 節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ	
14	中学校 環境やエネルギーに関する課題を学ぶ	
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標VI-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ	
18	中学校 自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ	
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ


※①:環境指標から目標値を見直しています。


※②:市独自の取組

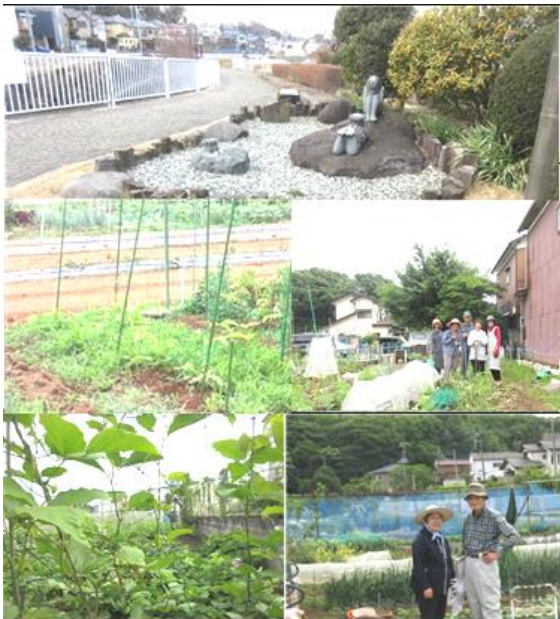
【 資料編 】


(5) 市民環境団体の活動報告 (50音順)


団体名	代表者
あやせ環境ネットワーク	中村 裕子
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	 <p style="text-align: center;">(講座等の様子)</p>
<p>【平成30年度の活動概要】 (団体会員14名、個人会員13名) 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や親子向けの講座 (宮ヶ瀬ダム見学、親子リサイクル現場学習会、エコクッキング) ・あやせエコクラブ ・あやせエコっと21 	


団体名	代表者
あやせくらしの会	川島 節子
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 日常生活の中で、様々な事件・事故が多いなか、会員相互の親睦を図りながら賢い消費生活に対する知識を高める</p>	 <p style="text-align: center;">(勉強会の様子)</p>
<p>【平成30年度の活動概要】 6月：市議会傍聴 7月：工場見学 布ぞうり講習会 9月：料理教室 (成人病予防) 2月：社会見学 3月：勉強会 (クスリについて)</p>	

団体名	代表者
綾瀬城山ほたる保存会	吉田 誠
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通して、豊かな都市環境を創造するため活動しています。</p>	
<p>【平成30年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地整備 ・ホタルガイド ・鑑賞会の開催 ・ほたるボランティアセミナー開催によるボランティアの募集及びスキルアップ ・行事参加による普及啓発 ・小学校への講師派遣 など 	

団体名	代表者
あやせ緑普及会	川崎 敏布
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>ビジョン CO2（二酸化炭素）削減 コンセプト つる性植物の育成 （配布目標300本/年）その他 ミッション 環境ネットワーク関係・個人関係・地域関係などから配布活動</p>	
<p>【平成30年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つる性植物や草花などの配布 ・ナタマメの種・ゴーヤの実の利用事業 <p>活動を開始して7年がたちました、「現状調査・話を聴き・つる性植物配布・反省を行ってきました。30年度はつる性植物の拡散を重点に置きCO2削減を目指しました。次年度は7年間の削減効果を見つめる年としたいです。</p>	

団体名	代表者
落合キツツキの森管理委員会	福島 國美
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 環境の保全と市民の憩いの場、市民の健康増進の場としての役割を担うことを目的とする。</p>	
<p>【平成30年度の活動概要】 三つの森の遊歩道整備と野草の生育環境の保全並びに、種の保全に関する奉仕活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野草観察会 ・サマーフェスタ開催（子供とそうめん流しとゲーム） ・緑化フェアに参加 ・高校生、成人のボランティア受入（サマーフェスタ、森の整備） 	

団体名	代表者
おもちゃの病院あやせ	岩本 達夫
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により、物を大切にする心を伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル） ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画） ・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習） 	
<p>【平成30年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3日曜日 午後1時～午後3時 リサイクルプラザで開院しています。 ・25回の開院で211個のおもちゃを受け付け、189個を修理しました。 ・今年は初めて『シルバー祭り』に参加させていただき、広報活動ができました。 ・『お孫さん』に使わせたいとお持ち下さる、年配の方も多く、おもちゃを大切にしているものと考えており、丁寧な対応を心がけております。 ・ドクター間の情報共有ノウハウの共有も推し進めたいと考えております。 	

団体名	代表者
長峰の森管理委員会	内藤 英雄
団体の目的・平成30年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 長峰の森は市の「緑のネットワーク構想推進」の一つとして地権者、行政、ボランティア有志の方々の協力により平成12年自然公園としてスタートしました。運営は管理委員会が主体となり市みどり公園課の支援のもと活動しています。</p>	 <p>(BBQ会の様子)</p>
<p>【平成30年度の活動概要】 綾瀬小学校、綾北中学校、綾瀬高校、綾瀬西高校、生蘭学園、日々輝学園、ボランティア等の団体が年間訪れて森の観察、維持管理を推進しています。上深谷老人クラブの皆さんも10年前からシイタケの栽培をしてBBQ会の憩いの場所としても利用しています。 綾瀬青年会議所でも1泊2日の「家族でサマーキャンプ in 長峰の森」を開催しており、恒例行事となっています。</p>	

団体名	代表者
NPO法人ふるさと環境市民	西 壽子
団体の平成30年度の活動概要	
<p>【平成30年度の活動概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境学習出前講座 「ふるさとの宝をさがそう！博士大集合」 エネルギー、地球、もったいない、お日様、ふるさとの宝カルタ、ホテルの博士による出前授業。綾西小学校、北の台小学校、その他県内の小・中学校等で実施。（神奈川県からの受託事業他） 2 市民提案型協働事業（リサイクルプラザ） <ul style="list-style-type: none"> ・もったいないを親子で学ぼう 「エコでおしゃれな新聞バックづくり」 3 市委託事業 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子環境教室 「ミニソーラークッカーを作ろう」 ・「地球の未来とエネルギー展」企画実施 4 あやせ環境ネットワーク事業 <ul style="list-style-type: none"> ・親子環境教室 「グルメでエコなクッキング」 5 「ふるさとの宝カルタ」「綾瀬のおもしろ七不思議」普及啓発出前講座等 市役所、小・中学校、公民館などで実施 6 つなごう みんなでふるさとの川 <ul style="list-style-type: none"> ・目久尻川クリーンアップ、花いっぱい大作戦 5月・10月の年2回清掃活動 ・目久尻川ふれあいウォーク 12月実施 参加者200人 ・不法投棄ウッチング 目久尻川等の不法投棄物の監視・通報 7 自主講座「恐怖のマイクロプラスチック」 講師 西 壽子 参加者15名 8 綾瀬市緑化フェア実行委員と展示、エコクイズ実施 	 <p style="text-align: center;">(活動の様子)</p>

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<p>・環境負荷低減活動として、低公害車の導入を進めて省エネルギー化の成果を上げる事が出来ました。</p> <p>・製品の開発・設計における環境配慮として、お客様から製品の環境負荷に関するデータ提供依頼に対応して協力する事が出来ました。</p> <p>・ISO14001:2015環境マネジメントシステムの運用により、新設備(NC穴明機)を導入して省エネの成果を上げる事が出来ました。また、品質も向上した事により、資材及び廃材の削減が出来ました。</p>
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>平成30年度の電気の使用量の削減、廃棄物の排出費の削減については、前年度より使用量、排出量ともに減少いたしました。工場内灯光器のLED化も進めております。</p> <p>また、毎月の地域清掃も継続しておこなっています。</p> <p>引き続き従業員一人ひとりの環境意識を向上し、環境負荷の低減をめざし活動してまいります。</p>
第19-0007号 ㈱加藤工務店	<p>昨年度に引き続き現場(建築)、事務所より出るゴミの分別、低減化に努めました。</p> <p>新築現場においては、エコな商品を建材・住宅設備として採用する様に努めています。</p> <p>また新築だけでなく、老朽化した建物の躯体を強度化も含めたリフォーム・リノベーションも積極的に推進し、環境意識の高いお客様も増えています。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>様々なエネルギーの使用を削減するべく工夫してきたが、数字上の比較が出来ていないので、感覚のみで実際の結果が把握出来ていない。</p> <p>常に把握しながら行動出来る様に、社内に進捗状況を貼り出す事を考えている。</p>
第20-0002号 ㈱メイコー	<p>昨年度、工程別・部署別の分別見本を作成したが、未だ浸透しきれていない部分があり、今年度も引き続きプラスチックごみの分別を徹底するよう取り組みました。</p> <p>また、昨年度に引き続き照明の一部LED化を進めることが出来ました。</p> <p>今後の課題としては、プラごみを如何に削減していくか、そして出てしまったプラごみの分別をどう徹底していくか、ということだと考えています。更に環境負荷の低減に努めて行きたいと思えます。</p>
第20-0006号 ㈱山勝	<p>当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいる。</p> <p>今回は電気使用量および燃料使用量ともに「削減」の結果となったが工場建直しのために工場が不稼動であったり、運転職の採用難に伴うトラックの不稼動であったり、他力本願の結果は否めない。ただし、社員の経費削減意識や省エネ意識は高まっているものと判断している。</p>
第20-0007号 ㈱栄和産業	<p>平成30年度は、全工場内の蛍光灯をLEDに入れ替えました。LEDにすることによって工場内が明るくなり、点灯消灯が素早くできるので節電にもなり、LEDは小型で長寿命なため廃棄物を減らせることや、蛍光灯のように水銀などの有害物質を使っていないため環境保全にとっても有効になりましたので今年度も環境改善活動に社員全員で考え見直し取り組んで行きたいと思えます。</p>

<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成30年度も継続して、焼却ゴミの中からの燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進しました。結果、12,879トン再生固形燃料として販売し利用されました。</p> <p>また、環境負荷低減（地球温暖化対策等）の取り組みとしては、経年・老朽車両の最新モデルへの切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では設備保全や原料バランス調整の工夫等で、生産性を維持、使用した電力や水は増産により総量は増えたものの、原単位では維持・低減を図り効率的に運用することができました。</p> <p>さらに、事務用什器類の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に継続して努めることが出来ました。</p>
<p>第20-0009号 株デザインルーム</p>	<p>回収ボックスを設置した事で、作業場等がかたずいた。 カタログ等をまとめてリサイクルに持っていったので、紙ごみが減った。</p>
<p>第21-0001号 株KYOEI</p>	<p>今まで取り組んできた事が習慣化されているように見受けられます。 一人ひとりが「もう少し使える」「1箇所点けたら1箇所を消す」「他の事にも使える」など自然にできるようになっています。 今後入ってくる人達にも、自然と身につけてもらえるよう今まで通り取り組んでいきます。</p>
<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般、行なった取組として、蛍光灯からLEDに事務所内を変更しました。また、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスと一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO2削減を行なったことと新たに花壇を造ったこと、継続的施設として機会選別施設に重点対照とし、金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行なわれているエコアクション21の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減、エアコン使用の際の温度設定並びに排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。</p> <p>燃料使用量に関しては、車両の増加に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減するためスマートメーターの導入と第一工場動力プレス機の入替えを行なうこと使用電気の削減計画予定。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用料の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の使用量の排出抑制をするために使用済みの用紙の裏紙使用。両面印刷の徹底を継続的に行なっています。</p>
<p>第22-0002号 株横浜乳業</p>	<p>ISO14001の活動を通じて、各種エネルギー、廃棄物の削減に取り組んでまいりました。</p> <p>エネルギーに関しては電気は増加傾向であったものの、燃料（都市ガス）は削減、コージェネレーションシステムの運転管理や、ボイラーの機器更新の効果がでております。廃棄物に関しては、廃棄物コンテナ周辺に監視カメラを取付けており、分別を徹底させております。</p>

<p>第22-0003号 (株)川崎製作所</p>	<p>エコアクション21の認証取得から今年で10年を迎え、会社全体で環境に対する意識が定着できており、今後も継続してまいります。「エコっと21」の登録により、地元企業として地域に環境面でも貢献できる様、継続して努力していきます。</p>
<p>第24-0001号 トピー工業(株)</p>	<p>私たちは、悪臭・騒音・振動等の法規制値を遵守すると共に環境配慮製品の開発や製造技術に取り組んでおります。また製造に伴う燃料（作動油、加工油）の削減に向けた活動も進めており、省エネルギー化では顕著な実績をあげることができました。令和元年度も設計・生産技術パフォーマンスの向上を目標に品質、生産性の改善、省資源化、廃棄物の削減の活動に注力して参ります。</p>
<p>第24-0004号 (株)あやせ電気</p>	<p>今回は、従来以上に環境意識を持って取り組みました。 特に雨水の利用を積極的に行ないました。</p>
<p>第24-0005号 (有)中電社</p>	<p>平成29年度より継続して平成30年度も『資源循環・有効利用』を重点課題として取り組みました。 廃棄物の排出抑制とリサイクルに注力し、工場現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進しています。 今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続して参ります。</p>
<p>第24-0006号 (株)かなしんオフセット</p>	<p>コピー用紙の使用量について、平成30年4月から社内すべての使用量調査を実施し、翌年の目標値の参考としました。引き続き各部署で環境負荷の低減を行ないます。</p>
<p>第25-0001号 武田商事(株)</p>	<p>今年度は、車両の入替えの機会が多くハイブリッド車、低公害・アイドリイングストップ車等を導入することが出来た。 その他の設備でも、環境負荷の低減を目標に順次導入していきたい。</p>
<p>第25-0002号 秋本食品(株)</p>	<p>当社は、食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」の義務化（2020年）に向け、更なる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、ISO14001の認証を返上いたしました。社内的に環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>
<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が、環境意識をもち取り組むことができた。しかし、設備面・事業面から難しいことも多いがこれからも出来ることに地道に取り組んで行きたい。</p>
<p>第25-0004号 (有)パレ・ド・モンパル</p>	<p>これからもごみが増え続けると思います。きれいな地球を保つ為にも小さな事から自分に出来る事を努力していきたいです。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>社用車を省エネルギータイプ（ECO）にし、環境に配慮したエネルギー・廃棄物の削減に従業員の意識が向上してきました。</p>

<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で個々の意識を高め積極的に取り組む事が出来たと思います。 照明器具はLEDに移行中。更にエリアごとの人感センサー設置等適性管理に努めます。 今年度はリサイクルに力を入れ、目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めて行きます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。本年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO2排出量の削減に努めましたが、従業員増加による機器使用、猛暑による電気使用量の増加のため、エネルギー原単位は約4%減したものの、CO2排出量は約2%増加しました。今後も継続して環境に配慮した取り組みを一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 取り組み内容は少なかったかもしれませんが、できることから取り組むように心がけています。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第29-0002号 神奈川日産自動車(株)綾瀬小園店</p>	<p>社員全員で意識して取り組み、リサイクル部品で対応出来る物に低減した。</p>
<p>第30-0001号 (株)ニチゲン</p>	<p>作業ロスやミスを減少させる事により材料などのムダを無くすことが環境保全の推進につながっていくと思います。今後は人為的環境保全の意識と共に設備の面での環境保全につながるものに変更していきたいと思います。</p>

綾瀬市環境報告書 平成30年度取組結果
令和2年1月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 市民環境部環境保全課計画推進担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5620 (直通)